

平成 29 年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書

(平成 28 年度事業対象)

平成 29 年 9 月

能美市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、平成 28 年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター教授浅野秀重氏にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めていきます。

平成 29 年 9 月

能美市教育委員会

## 目 次

### 1 事務の点検評価

#### 施策1 学校教育の充実

- 1 教職員の資質並びに授業力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 豊かな心, 確かな学力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 教育支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 4 教育環境の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

#### 施策2 青少年の健全育成

- 1 青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

#### 施策3 生涯学習の推進

- 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進 14
- 2 生涯学習活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 3 公民館活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 4 社会教育施設の運営・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

#### 施策4 芸術・文化の振興

- 1 文化財の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 2 博物館の活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 3 文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

#### 施策5 生涯スポーツの推進

- 1 競技スポーツの充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- 2 生涯スポーツの普及・振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- 3 スポーツ施設の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

### 2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

- (1) 教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- (2) 平成28年度教育委員会会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- (3) 教育委員の主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

## 施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成をめざして、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、活用力を培う授業づくり、考える道徳・特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

### 1 教職員の資質並びに授業力の向上

#### 平成28年度の主な取組

##### ◇教職員研修事業（971千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のように施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の積極的な活用や各種研究会等の活性化により、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催し、教職員の資質・授業力向上を目指します。また、学校研究の推進のため、大学等から講師を招聘し、学校研究を充実させ、教職員の資質向上を目指します。

##### \*研修講座ならびに講師招聘一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
	夏季教職員研修講座	柴原 弘志	京都産業大学	8月12日
	夏季教職員研修講座	長澤 正樹	新潟大学	8月18日
	冬季教職員研修講座	直山木綿子	文部科学省	12月27日
浜小	学び組織的	村川 雅弘	鳴門教職員大学大学院	6月30日
浜小	校内研究	石田 淳一	横浜国立大学	2月13日
福岡小	校内研究	青山 由紀	筑波大学附属小学校	8月2日
寺井小	校内研究	細水 保宏	明星大学	4月15日
粟生小	校内研究	盛山 隆雄	筑波大学附属小学校	5月2日
粟生小	いしかわ道徳	白木みどり	金沢工業大学	8月22日 11月29日
辰口中央小	校内研究	高木 展郎	横浜国立大学	7月5日
宮竹小	校内研究	浮田 真弓	岡山大学大学院	5月19日
和気小	校内研究	中川 一史	放送大学	10月18日
寺井中	校内研究	柴原 弘志	京都産業大学	10月4日

辰口中	学校研究	白木みどり	金沢工業大学	4月15日
				4月22日
				6月15日
				7月7日
				10月27日

## 評価

・平成28年度は、市主催の研修会は、道徳の教科化全面実施（小学校平成30年度、中学校31年度）、小学校外国語活動の教科化（平成32年度完全実施）を見据え、教職員が国の動向をとらえ、準備しておかなければならない内容について実施しました。

また、「特別支援教育の充実」についても、特別支援学級だけでなく、通常学級にいる特別な支援を必要とする児童生徒について教職員の指導力・対応力の向上させることを目指し、研修を実施しました。

・各学校が開催する校内研修会では、「主体的・対話的で深い学び」「言語活動の充実」「道徳教育の推進」等を目指した内容で実施されています。

開催校は市内の小中学校の教職員の参加を呼びかけることになっています。他校からの積極的な参加があり、市内全域で研修内容を広げることができました。

・平成29年度については、教職員の自主研修組織である「能美市学校教育研究会」の機能強化と、市教育センターの研修機能充実に向けて継続して取り組んでいきます。

## ○意見

「特別の教科 道徳」における「考え、議論する」道徳の授業を中心としながらも、学校におけるあらゆる場面や機会において、豊かな人間性や社会性を育むという思いを教職員が抱きながら日々の教育活動の推進、外国語活動の推進、さらに、特別な支援を必要とする児童生徒に係る指導力の向上に資する各種研修の実施は、大いに評価されるべきことです。このような教職員自身の「学び」の成果は、児童・生徒に豊かな人間性や社会性を育む結果をもたらすものであるとともに、教職員自身を内発的に動機づけるものと思います。

また、能美市学校教育研究会活動のさらなる推進と、市教育センターの研修機能充実に向けた取組を期待いたします。

## 2 豊かな心、確かな学力の向上

### 平成28年度の主な取組

#### ◇フォローアップ事業（2,182千円）

能美市教育施策の大綱では、児童生徒に対して確かな学力を育む教育の充実について、以下のように施策を進めることとしています。

変化の激しい時代を子どもたちがたくましく生き抜くために、学ぶ楽しさを感じさせる授業づくりを目指します。基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などの能力を育

みます。また、子どもたちが主体的・能動的に学習に取り組むための教育を充実させます。

本市では、平成 20 年度より市内の小学校 4・5・6 年生の希望者に対し、根上・寺井・辰口地区の 3 会場で地域の人材を活用し、土曜日を実施しています。算数科を主として、自学自習の確立をモットーに学習習慣の定着、学力向上を目指します。

これまでの参加が、3 会場に自宅が比較的近距離の児童に限られている傾向があったため、平成 28 年度からは、地位連携強化と参加しやすさを目指して会場は小学校 8 校の公民館等で実施しました。参加学年も 3 年生以上とし、対象を広げました。

また、土曜フォローアップの他に、各校のニーズに応じて、様々な補充学習が行われています。

\*会場（平成 27 年度まで）根上地区 根上学習センター

寺井地区 寺井図書館

辰口地区 辰口図書館

（平成 28 年度から）各小学校近隣の公共施設

\*講師数 45 名

\*参加児童数の推移（1 学期の申込状況）

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
平成 21 年度	43	48	56	147
平成 22 年度	57	42	36	135
平成 23 年度	47	59	49	155
平成 24 年度	38	53	47	138
平成 25 年度	39	45	42	126
平成 26 年度	31	28	60	119
平成 27 年度	27	21	25	73

（前期の申込状況）

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
平成 28 年度	58	32	93	147

\*上記外の補充学習状況

①浜小学校

・ 2 年～5 年朝自習等（ガンバモーニング・ガンバ放課後）で毎週（火・水・木・金）

②宮竹小学校

・ 1 年～6 年昼検定

③和気小学校

・ 放課後学習

## 評価

・会場が 8 会場に増えたこと、児童が自分で通えるようになったこと、これらにより、平成 28 年度は参加申し込み数が増加しました。

参加した児童やその保護者からの事後アンケートでも、「授業でわかりにくかったことがわかるようになった」「授業では質問できなかったことも、積極的に質問することができた」「休日を有意義に過ごせるようになった」「自分にあった家庭学習の方法を見つけることができた」など肯定的な意見が多くありました。毎年継続して参加している児童も多くいます。

・講師として参加していただいている地域人材（退職教員・地域の有識者など）の方からは「地域貢献につながる」「児童と接することで元気が出る」との声もあり、今後も継続していきたいと考えます。また、保護者アンケートの中にも「地域の方とふれあえるところがよい」という回答もありました。

## ○意見

フォローアップ事業ですが、会場を小学校 8 校の公民館等にするとともに、対象学年を 3 年生以上とするなど、希望者が参加しやすいように配慮された試みであると思います。そうした心配りが、参加者増という結果をもたらせたのではないのでしょうか。参加児童やその保護者、さらに講師として参加の方々から肯定的な意見が寄せられているように、この事業は、地域ぐるみで「地域の子どもを育てる」という環境の醸成にも寄与するものと思います。

また、住民の経験という広義の意味の「学習の成果」を活かす機会を、この事業が、その舞台を公民館が提供するというものであり、改善を加えながら児童にとっても関係する大人にとっても「学ぶ楽しさ」「学ぶ喜び」をともに実感できる取組であるよう願っています。

## ◇心の教育（人間関係力）推進事業（1,918 千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を各学校での重要な領域と位置づけ、すべての教育活動をトータルに進めていくことが大切であると考えます。

昨今、人間関係づくり（人間関係力）の未熟さなどが原因となり、いじめ・不登校などの生徒指導上の問題が発生したり、規範意識やモラルの低下が叫ばれたりしています。より良い学校生活と友達づくりのための Q U アンケートを小学校 4 年生から中学校 3 年生までの全員に実施し、児童生徒一人一人の成長とすべての教育活動の要としての「学級づくり」に有効に活用し、心の教育のさらなる充実を図ります。

- |        |   |
|--------|---|
| * 目的   | 一人一人の児童生徒の内面をつかむためにアンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。 |
| * 対象学年 | 小学校 4 年生～中学校 3 年生全員                                   |
| * 実施回数 | 年間 2 回（6 月・11 月）                                      |
| * 実績   | 「親和的な学級」に属する学級数の割合                                    |

	6月実施	11月実施
平成24年度	52%	61%
平成25年度	55%	64%
平成26年度	49%	54%
平成27年度	50%	54%

※平成26・27年度は評価方法に変更あり

「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6月実施	11月実施
平成28年度	59%	61%

※平成28年度から評価観点が変更

## 評価

- ・QUアンケートの結果は学級集団の実態把握に有効であり、学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し、人間関係力を高める取組を充実させています。
- ・本市においても、いじめや不登校に関する問題は学校教育の課題です。特に、不登校が増加していることを重く受け止めています。本市のいじめ防止基本方針においても、QUアンケートを積極的に活用することとなっています。いじめ・不登校問題に関して早期発見・早期対応・未然防止のために今後も有効活用していきたいと考えます。

## 意見

心の教育（人間関係力）推進事業については、児童・生徒の間に励まし合い、学び合い、高め合い、支え合いという雰囲気創られるようお願いしたいものです。QUアンケートは、子どもが自己を見つめ直して内省したり省察したりする機会にもなっているものであり、彼ら彼女らの道徳性の形成にも寄与する側面を有していると思います。

## 3 教育支援の充実

### 平成28年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（32,037千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人一人のニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示しています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や、周囲の児童生徒の学びやすさや居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

\*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成23年度	14	2	16



平成 24 年度	16	3	19
平成 25 年度	19	3	22
平成 26 年度	20	5	25
平成 27 年度	21	5	26
平成 28 年度	21	8	29

## 評価

・本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われています。また、特別な支援を必要とする児童生徒数も増加傾向にあります。市教育センター、市子ども発達支援センター等との関係機関との連携を重視し、特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。

・また、平成 28 年 4 月より、障害者差別解消法も施行されました。このことにより学校教育においても「合理的配慮の基礎となる環境整備」および児童生徒個人への「合理的配慮」が法的に義務づけられました。

本市でも、特別支援を必要とする児童生徒の個別の教育支援計画を立て、合理的配慮の内容を保護者との合意を得ながら決定しています。

・平成 29 年度は、特別支援教育支援員数を 31 名に増員してさらなる充実を図っていきます。

## ○意見

学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症などの発達障害又はその傾向にある「特別な支援を必要とする子どもたち」一人ひとりのニーズに応じた教育の充実は、教育基本法第 4 条第 2 項の規定を待つまでもなく、当然図られるべきことと思います。特別支援教育支援員の漸次的な増員も、評者としては大いに歓迎するものです。

## 4 教育環境の整備充実

能美市教育施策の大綱では、教育環境の整備充実について、小中学校の校舎等の整備状況を踏まえ、体育館の耐震補強や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ることとしています。

### 平成 28 年度の主な取組

学校施設の安全性と機能向上を目指し、小中学校の非構造部材（吊り天井等）の耐震化や老朽化による不具合箇所の改修工事を実施しました。

◇浜小学校施設整備事業 (給食室空調設備取替, 給食室搬入口シャッター取替)	4,989 千円
◇福岡小学校施設整備事業 (正面玄関自動施錠装置取付, 給食室天井塗装)	2,053 千円
◇寺井小学校施設整備事業 (正面玄関自動施錠装置取付, 電気時計改修)	1,515 千円
◇湯野小学校施設整備事業	1,867 千円

(埋設給水管漏水対策工事, 保健室空調設置)	
◇粟生小学校施設整備事業	782 千円
(正面玄関自動施錠装置取付, 消防設備改修)	
◇辰口中央小学校施設整備事業	5,543 千円
(電話設備取替, 正面玄関自動施錠装置取付)	
◇宮竹小学校施設整備事業	885 千円
(正面玄関自動施錠装置取付)	
◇和気小学校施設整備事業	568 千円
(ブランコ周囲柵設置)	
◇湯野小学校非構造部材耐震補強事業	50,966 千円
(吊り天井耐震改修, 照明 LED 化)	
◇宮竹小学校非構造部材耐震補強事業	48,881 千円
(吊り天井耐震改修, 照明 LED 化)	
◇粟生小学校大規模改造事業	5,908 千円
(基本設計, 実施設計)	
◇根上中学校施設整備事業	8,481 千円
(西側渡り廊下屋上防水改修, 落下防止手摺設置)	
◇寺井中学校施設整備事業	3,535 千円
(給食室トイレ洋式化改修, 相談室設置工事)	
◇辰口中学校施設整備事業	847 千円
(トイレ手摺設置, エレベーター遮煙ゴムパッキン取替)	
◇根上中学校非構造部材耐震補強事業	107,007 千円
(吊り天井耐震改修, 照明 LED 化)	
◇寺井中学校非構造部材耐震補強事業	51,970 千円
(吊り天井耐震改修, 照明 LED 化)	
◇辰口中学校講堂建設事業	24,656 千円
(屋外附帯工事, 周辺植栽工事)	

## 評価

・東日本大震災発生以降, 全国的な懸案事項となっています学校施設の非構造部材(吊り天井等)の耐震化について, 吊り天井を有する市内小中学校 9 校の体育館・講堂のうち, 湯野小学校, 宮竹小学校, 根上中学校, 寺井中学校の 4 校の耐震工事を実施しました。これにより, H27 年度に工事を実施した 4 校と合わせて, 8 校の耐震化が完了しました。残りの 1 校についても順次, 耐震工事を実施し, 安全安心な学校施設の整備を図っていきます。

・H27 年度に新築した辰口中学校講堂の外構工事や周辺の植栽工事を実施し, 駐車スペースの確保や植栽による彩りが加わりました。植栽では市緑化協会と辰口中学校の全校生徒, 教育委員会が協働により, シバザクラ約 7,000 株を植えました。「忍耐・希望」の花言葉をもち, 講堂周辺一面に広がるシバザクラは, 周囲の桜の木とあわせて, 新

たな名所「桜ヒルズ」になればと期待されます。

・市内の学校施設は昭和40年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から40年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。H29年度は粟生小学校の大規模改造工事を予定しており、老朽化対策に加え、多目的トイレの整備や特別教室の個別空調整備など、教育的ニーズや防災機能を考慮した整備を行う予定です。

今後はこうした老朽化対策工事の実施に加え、建替えも検討対象とした中長期的な施設の長寿命化計画を策定し、計画に基づいた工事を実施していく必要があります。

## ○意見

児童・生徒及び教職員が学習と教育の活動を展開する館（やかた）たる学校の教育環境の整備は、行政に求められる「教育条件整備」の重要な施策の一つです。学校は、児童・生徒が一日の大半を過ごす「学び、生活の場」としての「公の施設」であり、ましてや、通常備えるべき安全性を欠いた状態たる「瑕疵」があってはなりません。

昨年度の意見と同様となりますが、学校施設などの教育環境は、単なる「容れ物」ではなく、主として児童・生徒のための教育空間、安心安全な空間、教職員にとっての「教育という崇高な使命を実際的に果たす」空間でなければなりません。さらに、地域の災害等の非常時には、地域住民のための「避難所」、「生活の拠点」となる場合があることから、空調整備、多目的トイレ等の整備に可能な限り取組まれるよう期待するとともに、施設の経年変化による老朽化に対しても計画的に対応してくださるようお願いしています。

なお、ついであるが、こうした校舎等の物的環境整備だけではなく、防災訓練、避難訓練は、急迫不正の事態に備える重要な体験的学びの機会であり、危機管理マニュアルの整備・見直しを含む防災・減災に資する対策は「待った無し」であるとともに、発災の予測も困難であることに鑑み、日常的な意識形成への取組を期待いたします。

## 施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

### 1 青少年教育

#### 平成28年度の主な取組

##### ◇ 青少年健全育成事業（456千円）

- ・ 各種会議
  - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
  - ◇ 夏休み期間中及び、七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施（九谷茶碗まつりは強風の為中止）
- ・ あいさつ

- ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集  
441作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（8名）】  
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

◇ 心の教育関連事業（330 千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
  - ◇ 毎月 15 日を「あいさつデー」とし、各町で公民館、学校 P T A を中心に実施
  - ◇ 9 月 1 日(木)～7 日(水)を強化週間として平日 5 日間に開催（延べ約 3,384 人が街頭に立つ）
  - ◇ あいさつデー啓発ポスターは根上中学校 3 年生 澤田 栞さんの作品を採用
- ・ 野外体験
  - ◇ 教育部門と福祉部門とが連携し、結成した児童・子育て専門部会が主催する、親子野外活動「夏のわくわくドキドキ企画☆クワガタ、カブトムシを探せ！みんなで昆虫探検隊！」を昨年引き続き開催しました。本活動は、昆虫採集を通して、子どもたちのたくましい豊かな心とからだを育てることを目的とした活動です。  
親子 12 組 33 名が参加し、子どもから大人まで自然の中でいきいきとカブトムシやクワガタなどの昆虫を探して楽しんでいました。また、今年は石川県ふれあい昆虫館の職員である石川卓弥氏に講師として参加頂き、参加者へ現地で採集した昆虫の解説等を行っていただきました。参加した子ども達は、石川氏の話に興味を持って聞き入っていました。
- ・ 学校地域元気アップ事業
  - ◇ 多様な価値観のもと、社会がますます複雑多様化し、能美市でも子供を取り巻く状況は変化してきました。学校は様々な課題を抱えるとともに、多くの役割が求められています。
  - ◇ このような中、平成 27 年度から市内全小学校で「地域とともにある学校」づくりの実現に向け「学校地域元気アップ事業」を、平成 28 年度からは学校目標を地域・保護者が承認し、学校とともに共有する「能美市版コミュニティ・スクール事業」を展開してきました。
  - ◇ それぞれの事業を展開していくのは、学校方針を理解し、学校支援活動の中心となる「地域コーディネーター」（各小学校に配置）と言われる地域住民です。学校支援を必要とする授業や活動を「地域コーディネーター」が把握し、地域から学校が必要とする学校サポーターを選出、その力を学校方針の実現に反映してきました。

## 評価

・毎月 15 日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小・中学生の規範意識を高めています。15 日以外にも、自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえてきています。

・能美市のお祭り（根上り七夕まつり、九谷茶碗まつり、辰口まつり）と子供たちの夏休み期間中に、パトロールを実施しています。実施中に声かけを行うケースは、稀にある程度なので、今後は時間帯の変更や、人数の再構成を検討する必要があります。

・親子 12 組 33 名を対象に、親子野外活動を実施しました。人と自然と交わる機会を与えることで、子どもたちに外で遊ぶことの大切さを教えられる良い活動になったことがうかがえます。

・今後は、さらなる子どもの健全育成を目指すため、親子対象のイベントを実施し、みんなで協力しながら、いきいきと体を動かすことで、たくましく豊かな心の子どもへの育成に努めていきます。

・「学校地域元気アップ」事業では、この 2 年間、今まで以上に、地域の人から学ぶ機会が増え、児童の学ぶ意欲の向上と学校力及び地域力の活性化が図られました。具体的に、地域の中で声を掛けあう児童と地域住民の姿が見られるようになり、地域住民からは「心の健康」を児童からもらったと言う声も聞かれるようになりました。しかし、一方で、学校が抱えるさまざまな状況を学校・地域・保護者がなかなか共有できないという課題が見えてきました。

・平成 29 年度からは、「学校地域元気アップ事業」を継承・発展させコミュニティ・スクール事業をスタートします。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換するための仕組みです。これまでの学校支援だけでなく、地域住民や保護者が校長の作成した「基本方針」に基づき、学校運営に対する当事者意識を分かち合い参画し、ともに行動する体制を構築することを目的とします。そして、さらなる学校と地域、保護者の連携・協働を図りながら、地方創生及び将来を担う能美市の子供たちの成長を育みます。

## ○意見

能美市では、毎月 15 日を「あいさつデー」として、あいさつ運動を通して子どもたちの規範意識・人間力の形成に努められていることと思います。

野外体験活動については、東西に広がる能美市の地域特性を活かしながら、内容の充実を図っていただけますよう期待いたします。

さらに、学校地域元気アップ事業は、平成 29 年度から、「コミュニティスクール事業」としてスタートするということを評者も承知いたしています。事業を展開していく中で、新たなアイデアや改善点も出てくるのでしょうか、そうして取組が、今後より一層奨励されるであろう「地域学校協働活動」の基盤づくりになるものと思います。

地域のことに関心を向け、保護者以外の地域の大人と接する機会となるこれらの事

業は、学校からも地域からも要望のある事業と思われます。その事業の中で、子どもたちは、地域におられる「意味ある他者」と出会うこともあるのではないのでしょうか。

### 施策3 生涯学習の推進

市民一人ひとりの生きがいや心の豊かさを実現するため、学習環境づくりや公民館活動などを核とした連帯と活力ある地域づくりを推進します。

#### 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進

##### 平成28年度の主な取組

###### ◇国際交流推進事業（1,591千円）

###### ・国際交流イベントの開催

市内小学生を対象にハロウィンパーティとイースターパーティ、親子向けに海外の文化を体験するロシア風新年会を開催しました。石川県国際交流課と共催で「親子参加多文化交流会 in 能美市」を開催しました。

###### ・外国語講座、日本語教室の開催

国際交流に必要とされるコミュニケーション能力をつける外国語講座として、国際交流担当職員による英語講座初級、English Only Class、ロシア語講座、国際交流サロンを開催しました。

言葉が通じないことで発生している、生活の不便を解消するために、市内在住・在勤の外国人を対象に市内3会場日本語教室を開講しています。教室の講師を養成する日本語教室講師養成講座（前期課程）を開催しました。

###### ・ジャパンテント

世界様々な国と地域から石川県を訪れた300人の留学生と県民との交流を深める

「第29回JAPAN TENTー世界留学生交流・いしかわ2016」が開催されました。本市では18ホストファミリーが25名の留学生を3泊4日の日程で受け入れました。古九谷写し体験、辰口まつりのじょんから踊りコンクール参加など、「能美市ならではのプログラムで留学生をもてなしました。

###### ・ボランティア通訳制度

外国人市民の生活を支援することを目的として実施を開始した「能美市ボランティア通訳登録制度」は、4言語・18人の登録があり、市内学校や市民団体が開催するイベントなどへ派遣しました。現在では、幅広く市民と在住外国人のコミュニケーションもサポートしています。

###### ◇関連団体交流活動等支援（140千円）

市内の国際交流活動を行う2団体（能美市日中友好協会、Nom i国際交流協会）に対し、活動補助金を交付しています。

## 評価

国際交流担当職員が中心となり、市民が交流国の文化に触れる機会や国際交流に必要なコミュニケーションツールとして語学を学ぶ場を創出し、国際理解推進の機会を整えています。国際交流サロンなどの交流イベントや保育園・学校訪問、各種団体と連携した事業開催など、市民と在住外国人との交流機会づくりの場を創出していきます。国際理解活動を推進し、国際感覚の醸成と国際化に対応できる人材の育成に努めていきます。

在住外国人の地域参加や生活を支援するため、市内全域で日本語を学ぶ機会を創出しています。また、講師不足を解消するため、日本語教室講師養成講座（前期課程）を開催し、17名の受講生が精力的に取り組んでいます。

## ○意見

今日、地方においても国際化の波が押し寄せていることに鑑み、国際交流イベント、外国語教室、日本語教室講師養成講座、通訳ボランティア登録制度、国際交流活動団体への支援、地域に居住する外国人とのイベント等を通じた交流は、今を生きる者に、未来に生きる者に、いかなる国際的な感覚や感性が求められるのかなど、世界と関わること、世界の中の日本について考える意識啓発の契機になります。

国際化に係る学習機会の提供は、多文化理解・多文化共生を促進する上でも、今後とも積極的な取組が期待される分野の一つであろうと思います。

## 2 生涯学習活動

### 平成 28 年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2017（600 千円）

日 時 平成29年2月19日（日） 午後1時から

会 場 根上総合文化会館，根上学習センター

趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。本会は、市民がお互いに話し合い、体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

◆分科会（6つの分科会…198名参加）

身近な生活課題がテーマで、子供から大人まで参加できる分科会を募集し、今年は6つの分科会を設けました。市民の皆様に分かりやすく興味を持ってもらう為に「聞いてみたい！」「体験してみたい！」という分科会を目指して運営しています。

No.1 分科会

「やってみようよ！みんなで enjoy ニュースポーツ」

～カローリンピック 2017～

No. 2 分科会

「プロに学ぶカフェランチ」

No. 3 分科会

「終活」を学ぶ 実践編 2

～エンディングノートを書いてみよう～

No. 4 分科会

「のみ・はなまる体操でストップ！ロコモ」

～もはや大人だけじゃない！ロコモは子どもから始まっている?!～

No. 5 分科会

「みんなで鉛筆づくり」 ～森から鉛筆ができるまでをまなぼう!～

No. 6 分科会

「鈴木大拙をめぐる」

◆お試し体験講座（4つのお試し体験講座…57名参加）

文化活動を気軽に体験し、生涯学習への一層の興味、関心を持っていただきます。興味を持ったことを、実際に見て聞いて話して身体を動かし、最後に「来て良かった」「楽しかった」と言ってもらえることを目指しています。

No. 7 お試し体験講座

「ロシア語初歩」

No. 8 お試し体験講座

「暮らしに笑いを」

～川柳は心のことば～

No. 9 お試し体験講座

「役に立つやさしいペン習字」

No. 10 お試し体験講座

「はじめての製本」

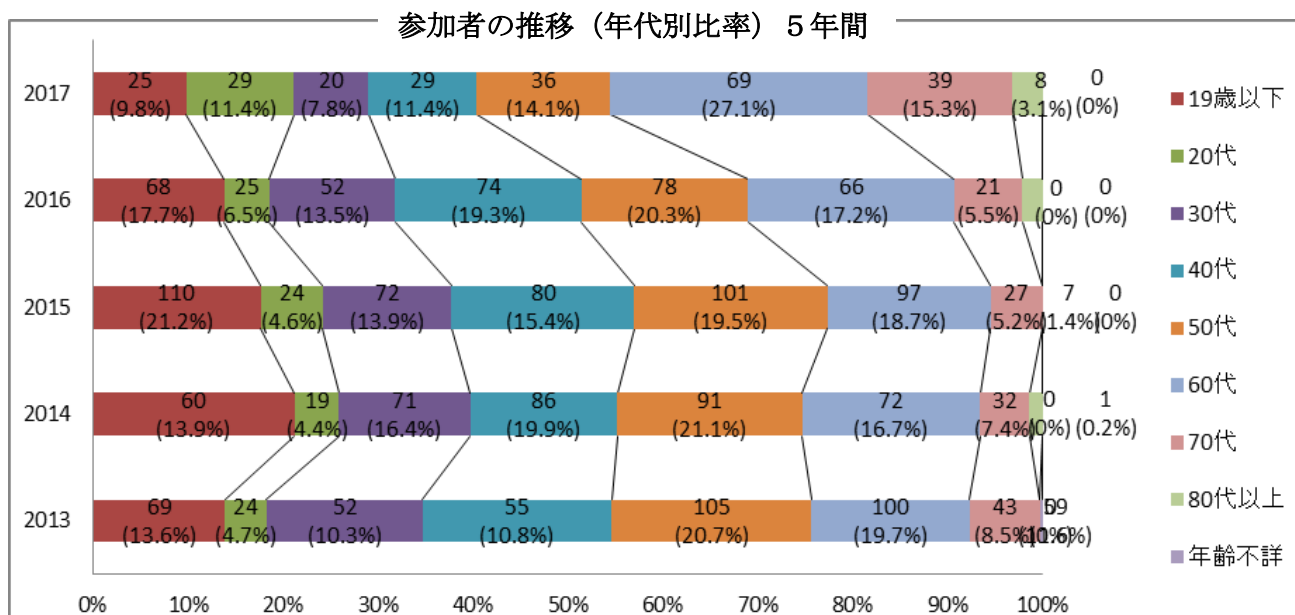
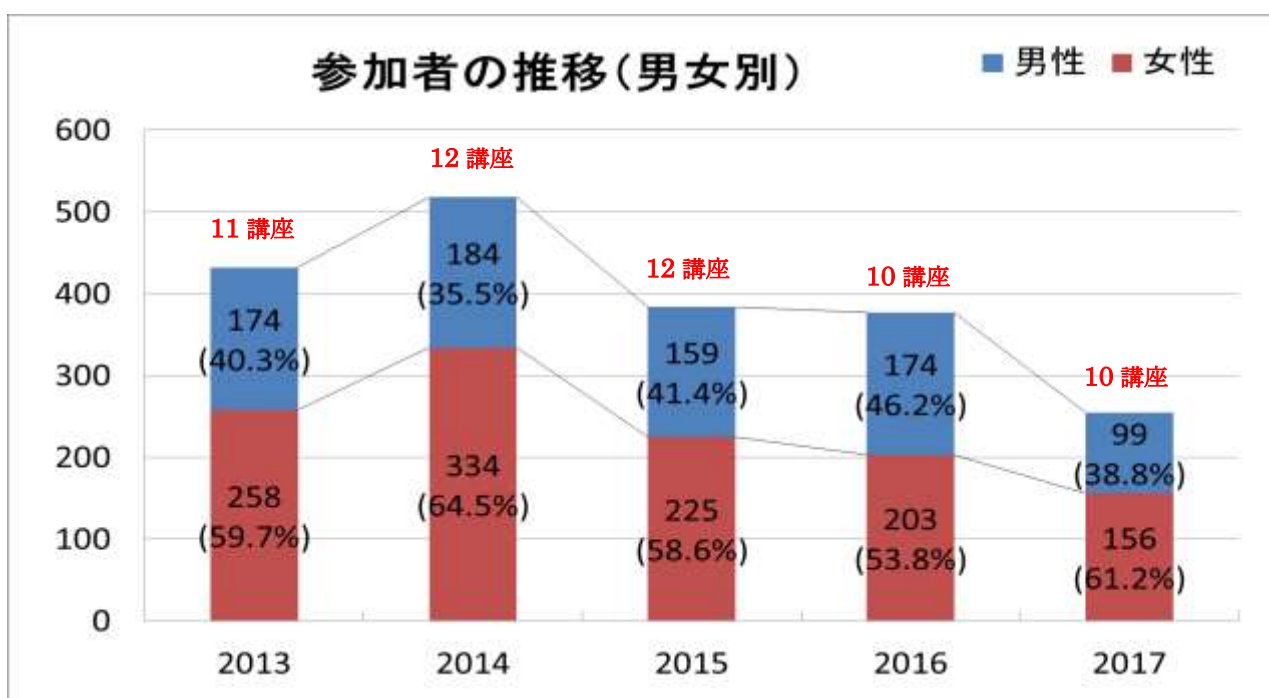
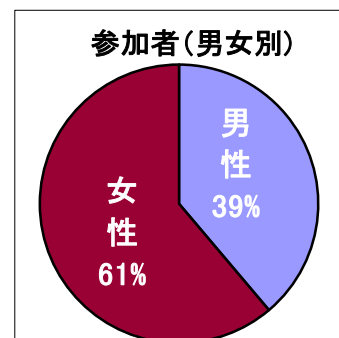
～文庫本をハードカバーに～

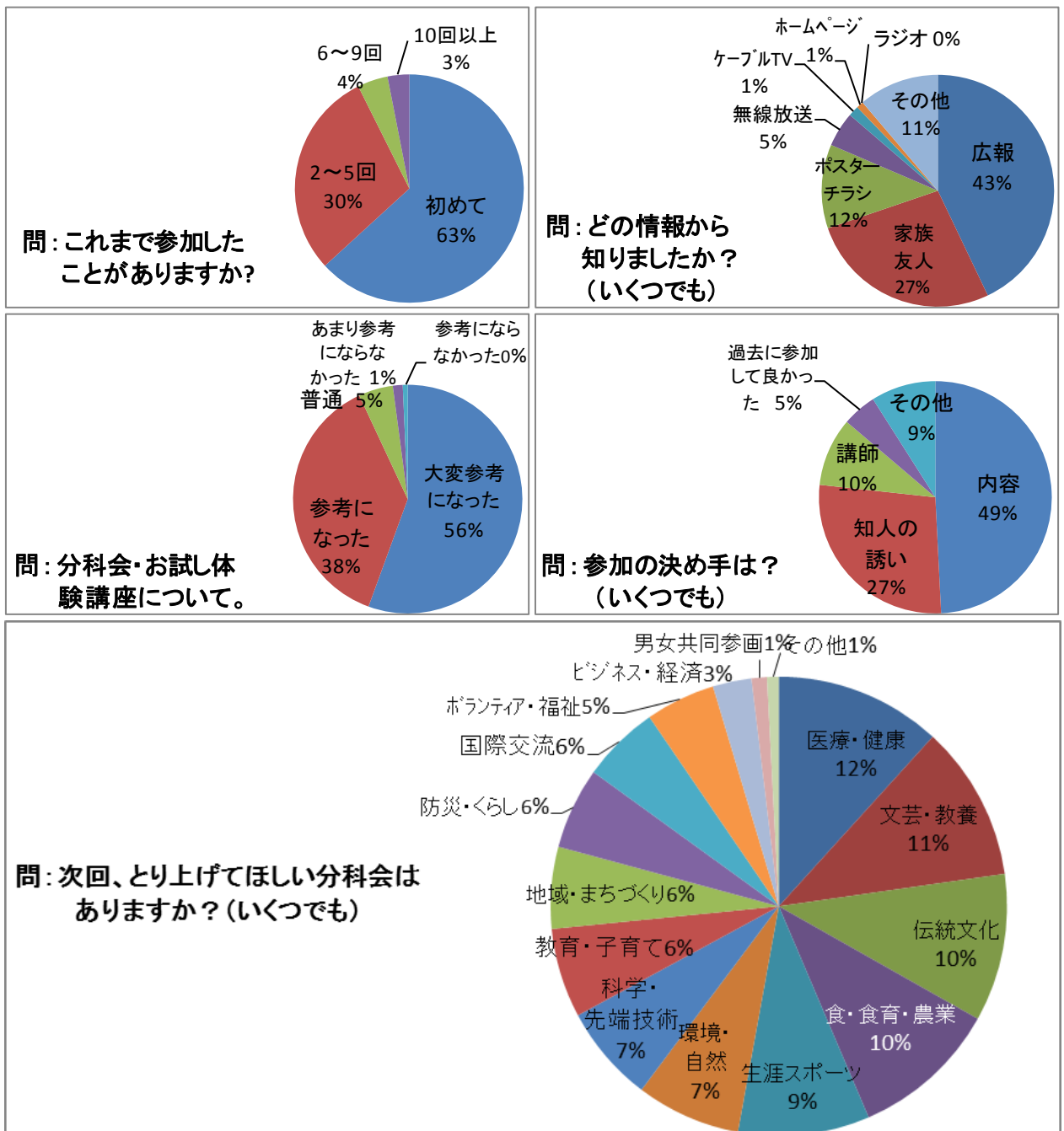
◆参加者アンケートより

- ・ 普段経験出来ないことが経験出来、楽しかった。
- ・ 生活の中で活かせるようなことで大変満足している。本やインターネットで学ぶのとはやはり違ったよさがあった。
- ・ 自分の趣味をより深く学ぶことができ参考になった。
- ・ 今まで無意味に日々過ごして来たが、年をとってからでも少し有意義に過ごす目的が出来た。
- ・ いつも疑問に思っていたことが少しわかって、出席して良かった。
- ・ 生き方を見直す機会となった。
- ・ 自分の体なのにわかっておらず、今回は良い気付きになった。



No.	分科会	人数	No.	お試し体験講座	人数
1	スポーツ	46	7	ロシア語	9
2	カフェランチ	28	8	川柳	16
3	終活	17	9	ペン習字	21
4	ロコモ	27	10	製本	11
5	鉛筆づくり	33			
6	鈴木大拙	47			
分科会 合計		198	お試し体験講座 合計		57
合計参加者数					255





**評価**

○まなびフェスタ

未就学のお子さんから 80 代の方まで、幅広い年齢層の方にご参加いただきました。参加者数は例年に比べると減少しましたが、意欲的な方が多く見られ、参加者アンケートでも 90%以上の方に参考になったと回答いただいていることから、意義のある会になったのではないかと感じております。

実際に、会での学習や体験を通して内容に興味を持たれた参加者の方から、引き続き生涯学習講座を受講したいという声や市の団体に加入し活動を続ける等の声が挙がっており、「まなびフェスタ」が市民の方々にとって新たな学習や趣味を始めるきっかけや地域の各種活動への参画を促進する場となっていることを実感しました。

内容の多様化と参加者数の獲得が今後の主な課題となりますが、市民の要望を積極的に取り入れ、多くの方にご参加いただけるよう広報の充実や魅力的な会の企画・運営に努めます。

#### ○意見

学びフェスタは、地域住民の「学び」の成果の発表の場、「学び」を体験・交流する機会でもあります。「学びの成果を活かした社会参加を」とよく言われますが、フェスタを一つの目標に位置づけながらも、教育委員会が行う事業と関連した団体に限らず、首長部局の事業と関わる団体や組織の参加等による広義の「生涯学習」フェスタのあり方も検討の余地があるように思います。いかがでしょうか。

### 3 公民館活動の推進

#### 平成 28 年度の主な取組

##### ◇成人式(1,763 千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開催日 平成 29 年 1 月 8 日 (日)

会場 根上総合文化会館

時間 10 時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	82 人	97 人	84.5%
	女	81 人	89 人	91.0%
寺井	男	97 人	120 人	80.8%
	女	83 人	94 人	88.2%
辰口	男	76 人	105 人	72.3%
	女	72 人	81 人	88.8%
計	男	255 人	322 人	79.1%
	女	236 人	264 人	89.3%

##### ◇立志式 (243 千円)

14 歳の少年・少女に、自ら将来に臨んで志を立て、次代を担うものとしての誇りと自覚、さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に持たせるため、実施しました。平成 28 年度も 3 中学校同時に開催しました。

#### ○式典

日時：平成 29 年 2 月 16 日 (木) 14:00～

開 場：根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

参加人数：根上地区 170 名

寺井地区 223 名

辰口地区 156 名 計 579 名

○記念講演

講 師：佐竹 悦子 氏

(防災教育の市民団体「ゆりあげかもめ」会長，元名取市立閑上保育所所長)

演 題：「東日本大震災を経験して～大切な命を守るために～」

◇総合文化祭

〈展示部門〉(305 千円)

日 程 一般展示：10 月 28 日 (金) ～10 月 30 日 (日)

文化協会：11 月 3 日 (木・祝) ～11 月 6 日 (日)

会 場 一般展示：根上総合文化会館

文化協会：根上総合文化会館，根上学習センター，寺井図書館

内 容 展示を 2 週に分けて実施しています。1 週目は地区公民館，CC 館，児童館，そのほか各教室，サークルの作品。2 週目はいけ花，川柳などの市文化協会作品の作品を展示しています。

〈発表部門〉(730 千円)

○ジュニア文化発表会

日 程 10 月 25 日 (火)，10 月 28 日 (金)

会 場 根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

内 容 市内小・中学校の児童・生徒が元気いっぱい合唱や演奏を披露しました。

○市民文化・芸能大会

日 程 10 月 29 日 (土)

会 場 根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

内 容 市内の自治公民館及び市内で活躍しているサークル・団体がこの日のために練習してきた出し物を披露しました。

◇石川県公民館大会

今年度は，石川県公民館大会を能美市で開催いたしました。第 68 回となる今年度の公民館大会は，「生涯を通して地域づくりに果たす公民館の役割」を主題として，県内の公民館，社会教育関係者が一堂に集い，公民館の実践活動を通して相互の情報交換を図り，ともに学びあい，これからの公民館の在り方等を研究協議することを目的として開催されました。

日程 平成 28 年 10 月 6 日 (木)

会場 根上総合文化会館

参加者数 594名

○記念講演

演題 国指定史跡能美古墳群の謎に迫る

講師 能美市立歴史民俗資料館 主任（学芸員）菅原 雄一

○アトラクション

- ・九谷焼のオカリナによる演奏（オカリナ倶楽部・九谷の風）
- ・日本舞踊（能美市日本舞踊協会・藤陰歌扇社中）
- ・獅子舞演舞（栗生獅子舞保存会）

◇地区公民館・自治公民会協議会の活動（18,387千円）

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
2月8日	スポフェス企画委員会	根上総合文化会館
3月3日	根上地区スポーツ協議会	根上総合文化会館
4月13日	スポフェス実行委員会	根上総合文化会館
5月11日	スポフェス協力員会・企画委員会	根上総合文化会館
5月15日	スポフェス協力団体会議	根上総合文化会館
5月22日	スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
8月3日	根上地区スポーツ協議会	根上総合文化会館

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
4月20日	寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
5月14日	各種教養講座・趣味の教室	寺井地区公民館
6月26日	寺井地区グラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
7月3日	三世代ふれあい子ども体験まつり	寺井地区公民館
7月10日	寺井地区クリーンデー	寺井地区一円
8月10日	スポーツフェスティバル実行委員会	寺井地区公民館
8月23日	自治公民館長及び体育部長会議	寺井地区公民館
10月2日	スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月9日	寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区一円
10月9日	寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
11月17日	寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
12月2～4日	歳末助け合い入札展	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
5月26日	スポフェス実行委員会準備会	辰口福祉会館
6月18日	能美市でホテルを見よう！「ホテルの観察会」	ふるさと研修センター
7月21日	スポフェス実行委員会	辰口福祉会館
8月10日	夏休み、手作り工作体験教室「本棚をつくろう」	能美市立博物館
8月31日	スポフェス実行委員会	辰口福祉会館
9月23日	スポフェス協力員説明会	辰口福祉会館
10月2日	スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
3月18日	しいたけの植菌体験	能美市立博物館

○自治公民館協議会

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月24日	能美市自治公民館協議会総会	寺井地区公民館
4月14日	能美市自治公民館協議会役員会	寺井地区公民館
5月13日	能美市自治公民館協議会役員会	寺井地区公民館
7月9日	能美市自治公民館協議会公民館交流会	寺井地区公民館
9月10日	能美市自治公民館協議会スマートウオーク普及教室	物見山体育館周辺
10月6日	第68回石川県公民館 能美大会	根上総合文化会館
10月29日	第12回能美市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
11月23日	能美市中央公民館行事スマートウオークラリー開催	青年の家，根上海岸周辺

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月19日	根上地区役員会	根上総合文化会館
1月26日	根上地区総会	八松苑
3月10日	根上地区役員会	ビストロ・ア・ターブル
4月25日	根上地区役員会	根上総合文化会館
5月22日	能美市民スポーツフェス in ねあがり	浜小学校グラウンド
6月26日	根上地区視察研修会	愛知県内名古屋他
12月中旬	根上地区秋季研修会（講演会）	クアハウス九谷

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月5日	寺井地区総会	クアハウス九谷
4月22日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
6月25日	寺井地区研修会（NHK 公開録画）	根上総合文化会館

6月26日	寺井地区グラウンドゴルフ大会（共催）	寺井グラウンドゴルフ場
7月10日	寺井地区クリーンデー	寺井地区町内一円
9月27日	秋の体育行事監督者会議	寺井地区公民館
10月2日	スポーツフェスティバル in てらい	寺井小学校グラウンド
11月10日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
12月11日	寺井地区館長会	小松市 梶助

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月22日	辰口地区監査会	寺井地区公民館
2月11日	辰口地区総会	辰口福祉会館
4月22日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
6月26日	辰口地区春季視察研修会	京都(宇治平等院他)
8月25日	辰口地区館長会	辰口福祉会館
10月2日	スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
12月10日	辰口地区秋季研修会(講演会)	辰口福祉会館

## 評価

### ○成人式

成人式を一会場で開催するのは3度目となりました。大きな問題はなく、厳粛なうちに終了することができました。成人式は実行委員制度を採用しており、新成人の中から実行委員を選び、式典を運営しました。実行委員の他にも、受付協力者を募り、新成人の力で成人式を盛り上げる形となりました。その他にも実行委員は、恩師からのビデオメッセージの作成、保育園から中学校までの思い出を映像としてまとめたスライドショーの作成にも取り組みました。

### ○立志式

立志式は、14歳の少年少女が、自ら将来に臨んで志を立て、次代の社会を担う者としての誇りと自覚、さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に、青年への新しいスタートに立つ日を「立志の日」として祝い、励ますものです。

式典中に行った「立志の言葉」では、立志者の代表らしく力強い誓いの言葉を述べられました。式典後の記念講演についても、講師である佐竹悦子氏が「東日本大震災を経験して～大切な命を守るために～」という題目で、ご自身の体験に基づく貴重なお話について講演され、生徒にとってこれからの人生について考える良い機会を作ることができました。

### ○文化祭

文化祭事業は、発表部門と展示部門に分かれています。

発表部門では、文化協会や市内小・中学校の児童・生徒、市内の自治公民館及びサークルが、日頃の練習の成果を発表しています。文化祭での発表を各団体の目標として設定することにより、練習にも意欲的に取り組むことができます。また、他の団体と合同で発表

会をすることにより、団体間での連携が深まっています。

展示部門では、文化協会、各地区公民館での開催教室、児童館、コミュニティセンターなどが、展示に向けて作品を製作しており、文化的な活動を推進するものとなっています。

期間中に開催されているお茶席や将棋大会では、参加者が体験することもでき、見る以外の楽しさも含まれる事業となっています。

また、作品の展示や体験教室が、教室の宣伝効果となっている団体もあり、講座や教室への参加者を増やすための良い機会となっています。

#### ○石川県公民館大会

石川県公民館大会は、昭和 24 年より県内各地で開催されており、今回で第 68 回となります。能美市での開催は、市合併前の昭和 60 年に行われた第 37 回の辰口町以来、32 年ぶりとなりました。

市外の多くの公民館、社会教育関係者に向けてアトラクションや記念講演を通じて当市の魅力を PR する良い機会となりました。記念講演の内容を聴き、能美古墳群に興味を持たれた公民館の方から問い合わせを頂き、後日現地の訪問に至るケースもありました。当市の自治公民館長も多数参加し、他市町の関係者との交流の場としても大きな役割を果たしました。

#### ○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。

旧町単位に設けた 3 つの地区公民館は、合併前の 3 町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継ぎ、自治公民館間のコーディネーター的な立場として、自治公民館同士の結びつきを強める役割を担っています。その具体的な活動として、地区公民館で開催する事業の情報を提供したり、自治公民館からの情報を集約したり、懇談会や研修会などを開催することがあります。

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられていますが、小さな町会・町内会が多い辰口地区では小学校単位等で複数の公民館が一緒に活動しているところもあり、地域コミュニティ形成に必要不可欠な存在になっています。今後は、地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流をさらに強め、市内一丸となって地域を元気にすることが求められます。

#### ○意見

この項目は、全ての事業にわたってたいへん丁寧な説明であるとともに、評価の記載もわかりやすいものと感じました。

成人式や立志式は人生の一つの区切りであるとともに、新たな自分のスタートの意味を持つ儀式であり、自らの成長を振り返りながら未来に向かって歩むことを厳粛に意識する機会でもあります。実行委員会形式による成人式で、企画・運営に携わった委員だ



けではなく式典協力者自身にとっても自分育てになったであろうし、改めて「自己尊重」「自己肯定感」を実感する機会になったものと思います。

また、立志式における代表の言葉に象徴されるように、大人は、無限の発達可能性を持つ子どもたちの支援、見守り続ける存在でありたいですね。

展示と発表の 2 部門を設けた総合文化祭事業も、市民の日頃の活動の発表、交流の機会であり、参加者の生きがいややりがいを育てる機会になるものと思いますが、学びの裾野の広がりや学びの成果を地域社会の中で生かす可能性についても、今後の検討を期待いたします。文化事業は市民の豊かな感性を育て、活動する喜びを実感させ、さらなる活動へと動機づける励みの機会となるものです。長きにわたって自己研鑽に励んできた成果や経験を活かす場を提供することにもなるので、より一層の支援や参加の奨励に努めてくださるとともに、文化活動に関わる、あるいは関心を寄せる方々の裾野を少しでも広げるような取組の可能性をご検討いただけると良いかと思えます。

地域コミュニティを構成する住民の「絆」「つながり」の希薄化が各種の調査等で指摘される中、きめの細かい公民館活動は、市民の地域への帰属意識を育てる上でないがしろにはできません。国の教育再生実行会議が、「教育の力で地方創生を」と提起しているように、住民の地道な学習が、地方創生につながる可能性を持っているように、評者には思われます。

限られた職員、担当者での運営という困難さはあるかもしれませんが、地域の明日を創る「担い手」育て、「大人」育ての場として、3 つの地区公民館と自治公民館協議会、そして協議会を構成する各自治公民館における地域住民のつながり、絆づくりに資する事業や講座の開設への取組を期待します。そうした意図的な講座の開設が、地方創生にも寄与するのではないかと思うのです。

そういう意味において、単に学びの機会を提供するだけではなく、地区公民館と自治公民館とが適切に役割分担しながら、社会教育施設としての意図的な学びの場をいかに創出するかという視点に立ち、実施している事業を見直すことも必要になってきていると思います。要するに「攻め」の社会教育実践です。いわば、成人対象の一定の明確な教育目的をもった「攻め」的な社会教育事業への積極的取組を通じての「地域づくり」「地域創生」「地域活性化」の推進です。

併せて、評者が所属する金沢大学では、毎夏、社会教育主事講習を開催しており、少なくとも、地区公民館に社会教育主事有資格者 1 人を配置することについてもご検討いただけたら、と思います。

#### 4 社会教育施設の運営

◇市立図書館（128, 465 千円）

図書館の運営方針に基づき、3 館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

##### 平成 28 年度の主な取組

○図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と3館の持ち味を生かした資料収集を行いました。  
(根上図書館：ビジネス書 寺井図書館：美術資料 辰口図書館：郷土資料)
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように、利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

◎利用状況（平成29年3月末統計）

- ・蔵書数：397,083冊
- ・人口：49,814人（平成29年3月31日現在）
- ・登録者数：41,972人
- ・登録率（市民）：56.4%
- ・貸出者数：118,838人
- ・市民一人当たりの貸出冊数：7.2冊
- ・貸出冊数：492,438冊
- ・蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数）：1.2回

○読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画、運営を行いました。

◎講座・講演（短歌入門講座・まちづくり出前講座など）

◎年代に応じた児童サービス（ブックスタート・定例おはなし会・保育園や児童館などへの出前おはなし会・乳幼児向けのおはなし会・親子映画上映会・工作教室など）

◎保育園・小中学校との連携事業（小中学校へのブックトーク・保育園や小中学校への移動文庫・小学一年生の図書館招待・中学生の職場体験・読書スタンプラリーなど）

- ・関係機関や各種団体との連携事業

◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアとの連携・協力

◎関係機関と連携した展示の実施。

福祉課「自殺予防」・健康推進課「生活習慣病」・市民課「男女共同参画」

○啓発・広報事業

図書館通信の発行（月1回）、時事の話題をテーマにした企画展示、年齢別図書リスト配布などを行いました。

**評価**

- ・図書館運営方針に基づき、3館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を実施しました。
- ・資料収集事業では、利用者が図書館資料を円滑に利用できるように、わかりやすく、興味を引く配架の工夫など読書環境を整えることに努めました。
- ・貸出閲覧事業では、インターネットからの予約や県内外図書館との相互利用の活用して、利用者への資料提供に努めました。
- ・児童サービスについては、「第2次能美市子ども読書活動推進計画」を基に、各年代に応じた事業を保育園や小中学校と連携して取り組みました。
- ・高齢者向けのおはなし会や大活字本の充実など、高齢者サービスにも取り組みまし

た。

・職員の専門的力量的向上を図るため、職員研修の実施と研修成果を職員全員で共有することに努めました。

・各年代に応じた図書館サービスの実施や延長開館の実施など、利用機会の拡大を図りましたが、図書館利用の貸出人数、貸出冊数とも減少傾向にあります。新たな利用者の開拓や継続利用者の増加に向けて、図書館全体で課題を共有し解決することで、利用促進を図っていく必要があると考えます。

#### ○意見

昨年度の意見と同様のものとなりそうですが、市内の根上、寺井、辰口の各図書館が、「地域や住民に役立つ図書館」を目指し、連携しながら事業を実施したという評価は適切であると思います。巷間、活字離れが指摘される中、改めて図書館は、「活字」文化の提供拠点であり、様々な知的情報提供拠点です。文字どおり「読書センター」であり、「学習センター」であり、「情報提供センター」であるという機能、さらには「地域創生貢献センター」的な機能を果たすことが期待されているようにも思われます。

限られた人的体制ではありまじょうが、朗読講座やおはなし会の開催など、今後とも図書館法第3条が規定する図書館奉仕としての事業の拡充を図り、市民の皆さんの読書活動への支援に取り組まれますよう期待いたします。

#### ◇根上総合文化会館（145,128千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響庇を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では、市、市教育委員会の主催事業をはじめさまざまな催し物が年間を通して開催されています。

#### 利用状況（平成28年度）

年間利用件数	2,698件	（平成27年度	2,744件）
年間利用者数	127,782人	（平成27年度	122,869人）

#### 評価

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、講座を開催する際にご利用いただいています。

また、平成25年度よりこれまで2箇所に分散されていた教育委員会の機能を集約した能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

根上総合文化会館主催事業として、演劇、映画上映会、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏会等幅広い演目のイベントを開催しました。また、NHKの公開録画を行った際にはゲストの山田邦子さんと地元のご長寿夫婦との軽快な会話のやり取りに来場の皆さんから愉快的笑い声がこぼれてきました。

なお、根上総合文化会館も開館して20年を超えましたが、今年度も幅広い世代に喜ん

でいただくため、収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫をし、取り組んでいます。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに、これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めます。

#### ○意見

「タント」として親しまれている根上総合文化会館が、引き続き学校、企業、様々な機関・団体、市民、行政等の市内外の各種主体により講演、研修、展示、説明、発表、演奏会等の場として利活用されていることは歓迎されるべきことと存じます。

今後とも、利用者や市民の皆さんのアンケート等による「声」を丁寧に拾い上げ、ニーズや期待に応えることのできる事業展開を期待いたします。

#### ◇根上学習センター（34, 591 千円）

宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」、茶室「松海庵」、「国際交流サロン」のほか「根上図書館」を含め多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者までが集い学習や交流が深められるよう推進します。

#### 平成 28 年度の主な取組

児童・生徒の科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業においては金沢大学准教授を指導顧問に、また、教職員、星の会、根上いん石に関係する皆様には委員として、主催事業の企画運営について検討していただき事業を実施しました。

1 当市には自動車のトランクに落下した根上いん石があることから、市内全校小学 4 年生を対象とした「星空といん石学習」、中学 3 年生を対象とした「いん石講演会」、プラネタリウムでの星空学習などをおして、はるか遠き宇宙を身近に感じ、ひとりでも多くの児童・生徒に宇宙への関心を持っていただけるように努めました。

2 おもしろ科学教室、おもしろ理科教室、ガリレオクラブ等の各種教室をおして身の周りにある多くの不思議に気づき、発見させる機会を持っていただき、その「きっかけ」づくりが、ひいては学校教育の一助になればと、指導される先生方を中心にそれぞれの教室の運営に力を注いできました。また、プラネタリウムでの星空教室、当センター屋上での望遠鏡を使った星空観察会は、子どもから高齢者までの方々を対象に、星の会の皆様が星空の解説を行いました。

3 夏休み期間にはサイエンスフェスタと銘打ち、小学校の先生方による科学の実験、実演、「科学の館・屋台店」、科学の遊び「手づくりミュージアム」、根上いん石の展示など、工夫を凝らした企画を行い、子どもたちに科学をより身近に楽しく感じてもらえるように努めました。また、放射性廃棄物の処分方法等について、昨年引き続き原子力発電環境整備機構のコミュニケーション 3Dシアター「ジオ・ミライ号」の 1 日展示により学ぶことができました。

## 評価

施設は市民の交流の場や生涯学習の場として研修室や学習室が有効に使用されており、今後も施設の活用が十分に図られるよう努めていきたいと思いをします。

主催事業は、子どもたちにとって楽しみながら学べるよい機会であり、それぞれの教室をとおして科学への興味、探究的な態度を育てることは、身の周りにある多くの不思議発見と感動に繋がるものでありますが、残念ながら子どもたちの生活、学習形態の多様化と学習テーマによっては参加者の固定化や減少が見受けられます。

参加者の増加には、保護者への周知と理解を得ることが大事であり、主催事業企画運営委員会のご意見を頂くとともに、これからも指導者の確保に努め、事業運営に繋げていきたいと思いをします。

## 〇意見

様々な学習機能の複合施設としての根上学習センターですが、特に科学への関心を育てるため本学教員を顧問に招聘してその知見を生かそうとする取組、さらに金沢大学市・町共催講座として実施している「いん石講演会」の開催についてもありがとうございます。科学に対する興味や関心の高揚に資するため、おもしろ科学、おもしろ理科、ガリレオクラブ等の各種教室や星空観察会などの企画や実施にあたっては、予算の確保、指導者の確保、実験器具の制作や調達など、何かとご苦労がおりかと思いをしますが、大学や市民の皆さんの協力を得ながら、成人対象の「科学の学び直し」となる講座や教室の開催などその活動の範囲をさらに広げるとともに学びの深まりに努められますよう願っています。

## ◇根上青年の家（3,492千円）

能美市内や近郊で開催されるスポーツ等の各種大会参加のための宿泊が利用者の過半数となっているので、県外の中高校生の利用が最も多く、次いで県内の中高校生の利用が多くなっている。市外の近隣の高校・大学からは、部活合宿での利用も見られます。

ロシア、シレホフ市との姉妹都市交流や、根上中学校と韓国培材中学校と姉妹校交流での宿泊・交流の場所として引き続き利用されました。

市内の利用団体では、小学校の町内会 PTA が 5 団体、種目別のスポーツクラブ単位で 7 団体の利用がありました。

過去には利用されたこともあった市内 3 中学校の部活動での合宿は、H26 に 3 クラブ・137 名の利用が見られましたが、それ以外は長期に渡って利用されていません。

また、企業の社員研修での利用は、市外の 1 社のみでした。

## 平成 28 年度の主な取組

- 1 建物の部分的な修理・改修・営繕を施し、少しずつ不都合な部分を改善、建物内の表示を見直すと共に、自家調理による食事の提供を廃止したことであり、少しでも便利に・安心して利用してもらえるように、ホームページを大幅に改良

し情報の発信を進めるなど、運営面での改善に努めました。

しかし、老朽化し、時代の流れに対応できていない施設の改修は全く目途が立っていません。

- 2 年々、宿泊での主催事業参加者の確保が難しくなってきたことから、初めて日帰りの事業を企画し、予定の参加人数で実施することができました。

#### 評価

施設利用団体の多くは、各種大会参加のための宿泊を主な目的としています。

この様な団体も大切にしながら、施設設立の目的・趣旨に沿った利用形態での団体の利用増を図って行く必要があります。

特に、市内団体の利用増や、繁忙期以外の利用、平日の利用増を図って行く必要があります。

#### ○意見

青年の家は、引き続き青少年教育の施設として、集団宿泊訓練や共同学習の場として青少年の自主性や協調性を育成に努めてこられたことと思います。施設の老朽化など、不利な状況下ではありましようが、近隣の体育・スポーツ施設等との事業連携の可能性を探りながら、少しでも利用率の向上に努められますよう願っています。

#### ◇青少年ホーム (2,675 千円)

生涯学習講座やからだバランス塾、各種サークル活動の拠点として利用されています。

#### 評価

施設名に反して高齢者の生涯学習の場として供されることが多く、講座等の主催事業の充実を図るとともに、広く多くの市民が生涯学習活動の場として利用拡大できるように努めます。

#### ○意見

青少年ホームにおきましても、青少年の思いを把握するとともに可能な限り彼らに寄り添いながら、活動へのさらなる支援や利用者の拡がりを期待します。

### 施策 4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

#### 1 文化財の保存と活用

##### 平成 28 年度の主な取組

#### ◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業 (単独・継続事業・1,092 千円)

- ①秋常山古墳まつりの開催

9月22日(木・祝)に秋常山史跡公園を会場に“能美のまほろば 秋常山古墳まつり 2016”を開催しました。この祭りは、秋常山古墳群に眠る1,600年前の大王、巫女に秋の実りと収穫を感謝し、能美市の今後の繁栄を祈ることをテーマとしたもので、今年で5回目の開催となります。古代体験コーナーやステージイベント、飲食ブースを設けて幅広い世代に能美市の古墳を知ってもらい、親しんでもらうことを目的にしています。

今年は雨天のため、会場が秋常勤労者体育センターとなりましたが、勾玉作りや組紐作りなどの古代体験コーナーは多くの親子連れで賑わいました。ステージでは、粟生保育園や寺井高校吹奏楽部など地元の子どもの出演とともに、メインイベントとして毎年恒例となった粟生小学校6年生による古墳儀礼の再現を行いました。古墳時代の大王、武人、巫女に扮した子どもたちが夏休みに自分達で作った土器や埴輪を使って、当時行われたであろう古墳での儀礼を演じ、古墳に眠る大王に感謝の言葉を述べました。あいにくの天候で古墳を舞台にした儀礼はできませんでしたが、子ども達は事前のリハーサルから一生懸命取り組んでいました。

儀礼が終わった後、県内出身のシンガーソングライター千寿さんによるミニライブを行い、幻想的な雰囲気にもまれて閉幕しました。雨天ということもあって参加者は約500名と例年より少なかったものの古墳を活かした有意義なイベントになりました。

## ②古墳ボランティア活動

平成23年度より活動を行っている古墳ボランティアは現在15名を数え、古墳ガイドや歴史学習、各イベントでの古代体験指導などさまざまな取り組みを行っています。近年は市内外から訪れる小学校の歴史学習や各種団体のイベントで古代体験の要望が多くあり、勾玉作りや火おこし体験など子供たちが安全で楽しく学べるよう指導にあたっています。今年度は新たな試みとして、秋常山古墳祭りで「ドキドキ！ハニワ！ミニ選手権！」と名付けた土器・埴輪作りコーナーを設けました。また、寺井高校の学生達と連携し、七夕祭りや辰口祭りで古墳祭りのPR活動なども行いました。

## ◇史跡能美古墳群整備基本計画策定事業（補助、単独・継続事業・3,099千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、有識者や地元代表で構成される委員会指導のもと「史跡能美古墳群整備基本計画書」を策定しました。今後は本計画に基づき、史跡の整備事業を進めていきます。

## ◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助、単独・継続事業・112,524千円）

平成25年度に国史跡へ追加指定された西山古墳群について、史跡公園として整備し、保存と活用を図るため、史跡指定地内の公有地化と墓地移転の工事を進めました。

## ◇博物館建設事業（単独・新規事業・60千円）

能美市にとって理想的な博物館のあり方を検討すべく、有識者や市民よりなる「能美市立博物館整備基本計画策定委員会」を組織し、意見を求めました。

#### ◇湯屋古窯跡群発掘調査事業（補助・継続事業・2,000千円）

湯屋古窯跡群は飛鳥時代の7世紀後半に操業した須恵器・瓦窯であり、これまでの調査で5基の窯が確認されています。なかでもB支群1号窯は、須恵器と瓦を併焼した瓦陶兼業窯で、その瓦が国指定史跡末松廃寺（野々市市）に供給されたことが明らかとなっており、白鳳期における古代寺院と密接に関わる生産遺跡として注目されています。

また、その他の須恵器窯も以後9世紀にかけて能美丘陵上で展開される能美窯跡群の前半期に属するもので、当地域における古代窯業生産の様相を解明するうえで重要な窯跡として位置づけられます。

平成24年度より民間開発に伴う発掘調査を実施しており、今年度は発掘調査報告書の作成に向けて出土品の整理作業（接合、復元、実測、拓本）を行いました。

#### 評価

##### 【史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業】

- ・古墳まつりは初めての雨天による室内開催でしたが、古墳ボランティアの協力のものと、土器・埴輪作りコーナーを設置するなど新たな試みも見られ、古墳を知ってもらい賑わいのあるイベントになりました。
- ・古墳ボランティアと寺井高校が連携し、古代体験の指導や古墳まつりのPRに取り組むなど史跡を核とした活動の輪が広がりました。
- ・今後の課題としては、古墳ボランティアを中心にさまざまな団体や地域と連携しながら活動を発展させ、イベントのマネリ化などを招かないよう工夫していく必要があります。

##### 【史跡能美古墳群整備基本計画策定事業】

- ・基本計画を策定したことで、今後、具体的に史跡整備を進めることができるようになりました。
- ・今後の課題は、本計画を市民に周知していきながら着実に事業を実施していくことです。

##### 【史跡能美古墳群保存整備事業】

- ・能美古墳群の公有地化や墓地移転事業を進めたことで、史跡の適切な保存と管理が図られるようになりました。
- ・今後は、公有地化を早期に完了させ、史跡整備を進めていく必要があります。

##### 【博物館建設事業】

- ・能美市にとって理想的な博物館のあり方について、さまざまな視点から意見をうかがうことができました。
- ・今後の課題としては、頂いた意見をもとに具体的な整備基本計画を策定することです。

##### 【湯屋古窯跡群発掘調査事業】

- ・郷土の貴重な埋蔵文化財について、発掘調査報告書の刊行に向けて出土品の基礎的なデータを取得することができました。



- ・今後の課題としては、得られた調査成果や出土品の公開方法を検討する必要があります。

#### ○意見

雨天での取組となってしまったようですが、秋常山史跡公園を会場とした古墳まつりでの保育園や寺井高校との連携、小学生による古墳儀礼の再現、さらに古墳ボランティアの方々の活動などの取組は貴重なものと理解します。古墳群は、派手さやきらびやかさからは遠く離れた存在かもしれませんが、古に生きた人類の活動や生きる術に思いを馳せながら、文化や暮らし、工夫の様子などの変遷を考える機会を提供する場となっています。

古墳群の整備計画の策定、古墳群の整備保存事業、史跡発掘調査事業など、今後とも調査・研究を通じて当該古墳の歴史的、文化的、学術的価値を様々な方法で活かして下さることを期待します。

市民の共有の財産でもある文化財は、能美市にとっての「良きもの」「貴重なもの」「持てるもの」「財産」そして、「後世に継承すべきもの」であり、それらの保護・保全・継承・活用・広報・発信等によりいっそう努められることを期待します。

## 2 博物館の活動

◇展示・教育・普及活動（927）千円

### ①ギャラリー展示

月	展覧名	開催期間		来館者人数
4	辰口押し花教室	4月12日(火)	4月24日(日)	557
5	JUNKO・デコ・アート倶楽部 生徒作品展	4月27日(水)	5月1日(日)	333
	写真展 インドとネパールの人々	5月14日(土)	5月29日(日)	550
6	辰口絵画クラブ 辰口の風	6月2日(木)	6月12日(日)	423
	能美市美術作家協会展 絵画部 第14回N展	6月15日(水)	6月26日(日)	401
	能美市写真協会	6月29日(水)	7月10日(土)	381
7	夏季特別展 能美の文化財	7月23日(土)	8月21日(日)	1221
9	パッチワークキルト展	8月27日(土)	9月11日(日)	848
	福島健介フォトライフ倶楽部展	9月16日(金)	9月28日(水)	410
10	モノクロームフォト三彩展	10月1日(土)	10月16日(日)	377
	秋季特別展示 能美の年中行事と食	10月22日(土)	11月20日(日)	768
12	角越 長 写真展	11月26日(土)	12月4日(日)	413

	フォトクラブ木場写真展	12月10日(土)	12月18日(日)	382
1	写真研究員 ワタスゲ展	1月11日(水)	1月21日(土)	466
	館蔵品展	1月24日(火)	2月2日(木)	535
2	石川県自然解説員研究会 第14回写真展 石川の自然	2月4日(日)	2月12日(日)	520
	第13回のみ写楽会 写真展 感動の時	2月19日(日)	3月5日(日)	406
3	親子展	3月7日(火)	3月12日(日)	387
	辰口押し花同好会	3月14日(火)	4月2日(日)	637

10,015名

## ②教育普及事業

ふるさと講座 対象：一般

回	期 日	テ ー マ	参加者
第1回	5月25日(土)	能美市の文化財を知ろう 講師：松村 芳明(能美郷土史の会)	15
第2回	7月30日(土)	指定文化財九谷焼列品解説 講師：中矢 進一(九谷焼資料館館長)	20
第3回	8月11日(木祝)	県指定文化財「絹本著色白山曼荼羅図」絵 解き講座 講師：北村 周士(能美郷土史の会)	47
第4回	1月21日(土)	文書、歴史資料・考古資料を知ろう 講師：菅原 雄一(能美郷土史の会)	13

95名

## ③博物館講座など(辰口地区公民館との共催を含む)

講座名	期 日	講 師	参加者
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	5月第2土曜日 7回	日本野鳥の会石川支部 高 剋滋・高 文子	129
能美市でホタルを見よう ホタルの話と観察会	6月18日(土)	ふれあい昆虫館 技 師 石川 卓弥	110
九谷焼講座 赤絵に魅せられて	7月31日(日)	伝統工芸士 福島 武山	20
工作体験 光る剣を作ろう	8月7日(日)	辻 隆司	50

木工体験 本棚をつくる	8月10日(水)	建具職人 永田 忍 地区公民館・博物館職員	65
能美の里山 昆虫観察教室	8月11日(木祝)	石川むしの会 富沢 章	12
秋季企画展講座 ほんこさんとお斎	10月30日(日)	民俗学者 西山郷史	22
藁で縄をなつて「鍋敷き」を つくろう	11月13日(日)	能美市立博物館 開田 真優美	8
キノコの植菌体験	3月18日(土)	能美の里山 ファン倶楽部会員 ほか	18

434名

#### ④団体見学の受け入れ

学校教材 市内・川北町，白山市の小学校3，6年生 19小学校  
回想法・一般 47団体 1224人

#### ⑤出前講座

7月14日(木) 能美の民話 ケアサービスふたくち屋  
10月16日(日) ほっこりまつり 能美の豊富な自然と生き物たち  
10月16日(日) 「白山曼荼羅」カジュアルお話会 石川近代文学館  
11月5日(土) 能美市ってこんなところ 佐野町  
11月24日(日) のみ検定対策講座 北陸先端科学技術大学院大学  
11月27日(日) 能美市ってこんなところ 和光台町  
11月27日(日) 能美市ってこんなところ 大長野町  
1月11日(水) 能美市ってこんなところ(東任田の歴史) 東任田町  
3月8日(水) 能美市ってこんなところ 東任田町  
2月23日(木) 辰口の伝承 辰口中央小学校

#### ⑥博物館友の会

講演会・・・「泉鏡花と辰口温泉」(4月)  
「いしかわ動物園の夢」(1月)  
研修会・・・名古屋 ポストン美術館 ほか(5月)  
国立国際美術館，豊郷町 ほか(11月)  
ボランティア・・・展示の巡視  
古墳まつり(9月)  
蟹淵の目視観察8回 除草，ミズバショウ撤去

クリアファイル「能美の花」の製作 600部

出前講座、夏休みクイズラリーなどで使用 一部販売 (100円)

◇調査・収集・記録事業 (203) 千円

生物生息調査

- ・蟹淵のミズバショウ撤去 (4月)
- ・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議 (5月末～3月)

◇その他

のみでん広場のライトアップ

期 間：4月1日 (金) ～15 (金)

**評価**

今年度のギャラリー展示では、昨年よりも多い、16のグループによる展覧会が開催され多くの市民の方に発表の場を提供することができました。その反面、博物館の企画である夏季・秋季特別展示は昨年よりも入館者が減る結果となってしまいました。

夏季の特別展では、「能美の文化財」と題し、能美市の文化財を紹介する展示としました。市指定文化財には九谷焼も多く、九谷焼の専門知識を持つ能美市九谷焼資料館と共催として2館で協力して展示を行ったことで、深みのある展示になったと考えます。また、2館どちらとも観覧してもらえよう、スタンプラリーを行う工夫も行いました。さらに、県立美術館に委託管理してもらっている県指定文化財「絹本着色白山曼荼羅図」の実物展示を期間限定で行い、多くの市民の方に貴重な資料をご覧いただきました。来館者からは「こんな文化財があるなんて知らなかった」「行ってみたい場所が増えた」などの感想をいただきました。夏季特別展に合わせて行った特別講も「解説を聞きながら見ると理解が深まる」と好評で、福島武山氏による「九谷焼講座 赤絵に魅せられて」には、県外から若い女性が聴講に訪れる姿も見られました。

秋季特別展は「能美の年中行事と食」と題し、能美市内の年中行事とそれにまつわる食について紹介する展示としました。最近は行われなくなった行事もあり、「昔はこうだった」「なつかしい」などの感想をいただきました。

小学校からの団体見学では、6年生の「歴史学習」や3年生の「昔の暮らし学習」での利用が多く、特に3年生の「昔の暮らし学習」では、市外の小学校からの利用も多く見られました。

また、出前講座のお申込も多くいただいた。「能美市全体が博物館」という思いで、今後も出前講座を積極的に行っていきたいと思えます。

特別展やイベントの感想では、おおむね好評価をいただいた反面、来館者数が伸び悩んだことは反省すべきと考えます。ポスターやチラシの他に、HPやフェイスブックなど、様々な手段で広報をしていく必要性を感じました。また、市民のニーズに応え、魅力的な博物館になるよう、アンケートを積極的に行うなどの改善も必要だと感じました。

また、現在博物館にある資料の再整理を行い、どのような資料がどれくらいの量であるのかを把握し、資料の死蔵のないよう活用していくことも課題と考えます。

#### ○意見

能美市博物館は、年間を通してギャラリー展示、ふるさと講座、博物館講座、見学受け入れ、友の会活動などを通じた事業により博物館としての機能と役割を発揮しようとしているとともに、発信についても努めようとしていることをうかがい知ることができます。

今後とも、テーマの設定に基づき企画展の検討や市内のいしかわ動物園、企業等との連携事業などの実施など、創意・工夫ある事業の展開を期待いたします。また、評価欄記載のような今後の取組の可能性についても、これを具体化できるようご努力くださることを願っています。

### 3 文化振興

#### 平成 28 年度の主な取組

##### ◇文化連盟・協会（4,200 千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、相提携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計 38 協会。

##### ◇民俗芸能保存伝承（620 千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計 15 団体。

#### 評価

・文化連盟・協会への補助を行うことで、経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や美術展、発表会などで市民に成果を発表することで、市民の文化意識が向上しています。

・小中学生対象に年 2 回行っている席書大会や、市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など、連盟・協会員以外の方が参加できる機会をもうけることにより、市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第 12 号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

・民俗芸能保存会への補助を行うことで、教室や練習会を開催できています。研鑽した日頃の成果を能美市の祭りやイベントなどで積極的に披露することで、伝統文化を守り伝えています。

#### ○意見

文化は、地道な活動の継続により花開くという側面を持っていることから、市の文化連盟・協会加盟 38 団体や民俗芸能保存伝承 15 団体への支援は、当該組織・団体の活動基盤の強化や市民の間に文化的雰囲気醸成していることは紛れのないことでありますので、引き続きの予算措置等を願っています。

## 施策5 生涯スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

### 1 競技スポーツの充実・強化

#### 平成 28 年度の主な取組

##### ◇県民体育大会への選手派遣（4,225 千円）

能美市を主会場に南加賀地区で開催された「石川県民体育大会」に能美市を代表して参加する選手を派遣するための補助を行いました。猛暑の中、地元能美市を中心とした各会場では熱戦が繰り広げられました。地元開催の影響もあり、男女ともに過去最高順位となる総合 4 位を獲得し、一般女子の部においては 2 位という好成績を収めました。

##### ◇能美市民体育大会（774 千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘と育成強化を図ることを目的に、6 月を中心に市内各施設を利用して開催され、今年度は 26 競技が開催され、その運営補助を行いました。

##### ◇全日本競歩能美大会（11,866 千円）

アジア最高峰の大会である「アジア陸上競技選手権大会 20 k m 競歩」を兼ねるとともに、「第 10 回日本学生 20 k m 競歩選手権大会」を併催し、「第 16 回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)男子・女子 20km 競歩代表選手選考競技会」および「第 29 回ユニバーシアード競技大会(2017/台北)日本代表選手選考競技会」にも位置付けられた大会に 8 部門計 381 名のエントリーのもと開催された大会の運営費として補助を行いました。今大会において、男子一般の部で東洋大学の松永大介選手が二連覇し、派遣設定記録を突破したため世界陸上競技選手権大会の出場が決定しました。石川県勢の入賞は男子中学生の部において 2 位山本大河、5 位谷本典靖、7 位山本優喜、8 位酒井翔、女子中学生の部において、4 位西田有希、5 位市川真衣、7 位中元里央、8 位伊勢瑠里乃の合計 8 名でした。

期 日 平成 29 年 3 月 19 日（日）

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営 20 k m コース（往復 2 k m）

##### ◇第 59 回全国銃剣道能美大会（1,200 千円）

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会です。平成 28 年度は全国から 149 チーム、901 名が出場し、団体の部、個人の部でそれぞれ日本一を目指しました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。

## 評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツへの関心と振興を図るためのその運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものであります。県民体育大会は、9年ぶりに能美市を主会場として開催されました。地元での開催であり、能美市体育協会を始めとした各単位協会が力を入れて臨み、男子・女子ともに総合4位と過去最高の成績を収めました。次回大会は地元から離れ、金沢市を主会場として開催されますが、この成績を維持することが今後の課題として挙げられます。

全日本競歩能美大会及び全国銃剣道大会は、全国大会でありながら特殊性のある競技でもあり、馴染みの薄い競技ではあるものの、競技レベルは非常に高いものとなってきました。第39回全日本競歩能美大会において地元松が岡出身の鈴木雄介選手が世界新記録を樹立したことにより国内外から非常に注目の置かれる大会となりました。女子中学生の部において台湾の選手が出場し、海外から初めての出場があったことなどにその影響が見られます。また、選手や大会関係者からは、能美市の大会運営や応接について、高い評価を得るなど能美市の知名度アップに大きく貢献しています。その他にも、全国から集まる選手から、大会運営など好評を得ています。

競歩大会においては、今回から、周回コースから折返しコースへと変更になりました。世界的な大会が折返しコースで行われており、世界大会の選考会にも位置付けられる本大会においては、折返しコースでの開催が望ましいということからの変更です。選手の記録は軒並み下がっていますが、審判の目が行き届きやすくなり、より公平な競技運営が可能となりました。

これまで、市民が大会に関われる仕組みづくりや競技の周知方法が課題となっていました。そこで平成27年度より、競歩にヒントを得たウォーキング法である「スマートウォーク」を考案し、市民への普及を目指しています。競歩に準じた歩き方から、姿勢の矯正やケガ予防からの健康増進はもとより、競歩競技への興味関心を高めることをねらいとしています。

銃剣道大会については、全国でも数少ない銃剣道の全国大会でありながら、競技自体の知名度が低く、毎年周知しているものの、応援等で来場する人数が少ないことが課題となっています。平成29年度は第60回の節目であり記念大会として開催し、催し物も検討しているので、その中でも周知を図りたい。

## ○意見

主会場として開催された県民体育大会での総合4位、おめでとうございます。規模の大きな体育大会は、スポーツ活動に携わる方にとって、日頃行っている練習の成果を発揮する機会ですし、併せて「能美市」を発信する機会となります。さらに大会への参加や開催に向けた支援は、選手層の拡がり、国際大会で活躍するアスリートの育成やスポ

一つの普及、振興に寄与する面もあることから、今後とも継続的な取組を期待いたします。

全日本競歩大会は、競技レベルの高さを国の内外に発信する場となっています。世界記録を樹立する場ともなりました。銃剣道大会ともども、能美市にしっかりと定着した大会となっています。大会の運営や支援に関わる皆さんにお礼を申し上げる一人です。競歩大会や銃剣道大会を開催する自治体として、市民の間にこれら競技の認知度を高める工夫をさらに期待するものです。

## 2 生涯スポーツの普及・振興

### 平成 28 年度の主な取組

#### ◇ジュニアスポーツクラブ活動 (3,560 千円)

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び底辺の拡大を図るため、市内 45 クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るためのリーダー研修やスポーツ交流大会を開催、指導力の向上を目的に指導者研修会を開催し、クラブ全体の円滑な運営を図っています。

#### ◇高齢者健康クラブ活動 (840 千円)

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内 3 クラブ 137 名の高齢者が 3 会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。県の交歓大会や普及育成会等に参加する等、3 クラブはもとより市外の健康クラブとも交流を図っています。

#### ◇スポーツ教室「からだバランス塾」(1,938 千円)

からだバランス塾は、ふるさと振興公社に事業を移管し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層によるニーズに答えた教室が開催され、市民は体力の向上、精神的ストレスの発散や生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康保持増進を図りました。

### 評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、財源は市からの助成金であるという認識を持ってもらうために、実績報告に領収書のコピーを添付してもらい、用途を明確化することに努め、適正なクラブ運営ができるよう指導しました。また、自主運営ができるように役員会では極力役員に意見を出し合ってもらい、自主運営化に向けて自覚を持っていただくよう指導しました。

高齢者健康クラブ参加者数は昨年度から変わらず減少傾向にあります。また、平均年齢も年々上昇しており、新規会員が入会していない状況は変わっておりません。能美市健幸クラブ協議会役員会では、新規会員加入促進のためにどのような広報手段があるのかの話し合いを行いました。健康クラブの魅力は、「高年齢になっても大会やイベントに参加し多くの観客の前で練習成果を披露できる場所にある」との意見があり、この意



見を踏まえて、来年度の参加募集チラシにはこの旨を記載し、新規会員加入促進を目指します。

「からだバランス塾」については、ふるさと振興公社が運営し、高齢者や中高年を対象にした「エクササイズ教室」や若者に人気の「ピラティス」「ズンバ」など教室を開催し、幅広い年齢から支持を得ています。今後もふるさと振興公社が単独で教室運営できるよう、連携・支援を行う必要があると考えています。

#### ○意見

子どもから高齢者にいたる多くの市民が、生涯にわたって自分なりに親しむことのできるスポーツを持つことは、生きがいつくりや健康・体力づくり、生涯スポーツの普及・振興につながるものです。

ジュニアスポーツクラブ活動、高齢者健康クラブ活動への支援、さらにはスポーツ教室「からだバランス塾」の通年での開催など、今後とも生涯スポーツの裾野の広がりへの支援の継続は、地域団体の「育成」という視点からも大切なことと思われま

す。市からの助成を受けている団体に、公平・適正な執行に努めるよう働きかけが奏功しているとのこと、評者としても歓迎するものです。なお、「ふるさと振興公社」への当面の支援についてもご尽力を賜りたいと思います。

### 3 スポーツ施設の整備充実

#### 平成 28 年度の主な取組

##### ◇能美市物見山総合体育館剣道場改修工事

- ・ 剣道場床改修                      A=562 m<sup>2</sup>
- ・ 排煙オペレーター取替            N=5 箇所
- ・ 網戸新設                            N=20 枚 他

##### ◇能美市物見山総合体育館改修工事（建築）

- ・ 軽量化システム天井新設          A=1, 348 m<sup>2</sup>
- ・ 排煙窓改修                        N=1 式
- ・ 点検用通路新設                    N=1 式
- ・ バスケットゴール耐震補強      N=2 対
- ・ 天井点検口新設                    N=4 箇所
- ・ 事務所エアコン取替              N=1 式 他

##### ◇能美市物見山総合体育館改修工事（電気）

- ・ アリーナ天井照明 LED 化      N=46 台
- ・ 分電盤改修                        N=1 面
- ・ 自動火災報知設備改修          N=1 式
- ・ 壁掛型スピーカー新設          N=6 個 他

◇能美市泉台スポーツセンター改修工事（建築）

- ・軽量化システム天井新設 A=912 m<sup>2</sup>
- ・アリーナフロア改修 A=676 m<sup>2</sup>
- ・防球ネット新設 A=402 m<sup>2</sup>
- ・男女トイレバリアフリー化 N=2 箇所
- ・多目的トイレ改修工 N=1 箇所
- ・アリーナ1階内壁改修 A=303 m<sup>2</sup>
- ・アリーナ2階内壁改修 A=496 m<sup>2</sup>
- ・バスケットゴール取替 N=1 対 他

◇能美市泉台スポーツセンター改修工事（電気）

- ・天井LED照明設置工 N=24 台
- ・分電盤改修 N=1 式
- ・玄関ポーチ照明改修 N=6 個
- ・自動火災報知設備改修工 N=1 式 他

◇根上武道館床改修工事

- ・剣道場床改修 A=304 m<sup>2</sup>
- ・玄関廻り床改修 A=17.3 m<sup>2</sup> 他

◇寺井小学校運動場クラブハウス（管理棟）改修工事

- ・屋根折板重ね葺き工 A=110 m<sup>2</sup>
- ・内部天井改修 A=51 m<sup>2</sup>
- ・内部壁改修 A=67 m<sup>2</sup>
- ・男女トイレ洋式化 N=2 箇所 他

◇能美市物見山陸上競技場改修工事（平成27年度より繰越工事）

- ・ウレタン洗浄，トップコート工 A=7,492 m<sup>2</sup>
- ・ウレタン切削，オーバーレイ工 A=134 m<sup>2</sup>
- ・ウレタン舗装工 A=363 m<sup>2</sup>
- ・ラインマーキング N=1 式 他

◇上記工事を含め36件の工事，9件の業務委託（実施設計等），6件の備品購入を実施

◎改修工事費総額 309,994千円

◎業務委託費総額 15,746千円

◎備品購入費総額 4,047千円

**評価**

平成27年度からの繰越事業である物見山陸上競技場改修工事は，5年間の日本陸連公認

期間が終了することから、新たに公認に適合するようウレタン部の改修や増設等を行うとともに、不足や損傷のあった備品を購入することで、日本陸連から2種公認陸上競技場として継続認定されました。日本陸連の公認陸上競技場として継続されたことにより、県大会はもちろん、北信越等の地方大会を開催することが出来る他、通常の練習でも大会と同様のグラウンド・備品を使用できることで練習環境の充実が図られました。実際にこの競技場で練習する小中高生からは、毎年のように全国大会へ出場する選手が出ている他、競技場施設や備品が充実していることで、近年は関西方面から10以上の大学が夏場の合宿地として能美市内に宿泊し利用するなど、交流人口も拡大しています。当初は平成28年度事業でしたが、繰越により事業時期を早めたことで、能美市が主会場となって開催された県民体育大会の会場として使用できました。

物見山総合体育館及び根上武道館の剣道場床板は経年劣化が激しく、床板材の欠けや剥離が見られたことから、素足で行う武道では特に危険なため、両剣道場とも床板材を張替え、利用者が安全・安心に使用できるよう改修しました。

物見山総合体育館のアリーナ吊天井は東日本大震災により改正された建築基準法の耐震基準に適合していないことから、既設天井を撤去し、基準に適合した軽量システム天井を新設しました。また、天井部の施工に併せ、天井照明を従来の水銀灯から落下防止ワイヤー付のLED照明に交換し、環境への配慮及び維持管理費の削減を図っております。

泉台スポーツセンターは平成5年の建設以来の大規模改修工事となりました。物見山総合体育館同様に耐震基準に適合していない吊天井は軽量システム天井へ改修し、天井照明はLED照明に交換しました。アリーナの床は木製から体育館用スポーツフロアシートに変更することで、従来の木製と比べクッション性が高く、ひざや腰への負担が軽減され、また、ささくれ等による怪我の防止を図りました。スポーツフロアはメンテナンス経費も安価であり、今回アリーナ内だけでなく、施設内の照明も物見山総合体育館同様落下防止付のLED照明に変更したことで、安全性を高めるとともに、維持管理費の削減につながります。

アリーナ内部の内壁部には、壁にぶつかった時の衝撃を緩和する、緩衝性の高い壁に変更し、安全性を高めるとともに、2階ランニングロードに従来無かった防球ネットを設置しました。また、バスケットゴールも耐震性の高いものにするるとともに、昇降式のゴールに変更したことでジュニアのバスケットにも対応出来るようになりました。

男女トイレや更衣室も入口部の段差を無くしバリアフリー化するとともに、近年の生活様式の変化に対応し、和便器を洋便器へ取替えた他、多目的トイレにはオストメイトやフィッティングボードを設置し、高齢者や障がいのある方々も利用しやすい環境を整えました。

今回の大規模改修により、年少者から高齢者、障がいのある方まで幅広い年代が安全・安心に利用出来る施設を整備することで、健康づくりやスポーツに親しむ市民が増加し、スポーツ振興につながることを期待しています。

市内体育施設は建設後20～40年以上経過し、経年劣化による老朽化が進み改修が必要な施設が多くなっています。

また、現在の施設のトイレは和便器が多いことから、近年は利用者からトイレ洋式化の

要望も多くなっています。市では施設改修に併せ順次洋式化していますが、トイレだけを先に洋式化することも配慮する必要があります。

上記を含め、今後も懸念される施設の統廃合計画を勘案し、スクラップ&ビルドも含めた施設改修計画を策定し改修を進め、利便性の向上、施設の延命化を図るとともに、施設利用者が安全・安心・快適に利用出来、気軽にスポーツに親しめる環境を整備していくことで、スポーツの参加促進、普及・育成につなげていきたいと思ひます。

○意見

昨年度の意見と同様のものとなりますが、公の施設であるスポーツ施設の改修、撤去、整備、補修などは必要に応じて、かつ計画的になされる必要があろうかと思ひます。スポーツの普及、未来のアスリートの発掘や育成と関わったりする機会がないとも限りません。今後ともスポーツに親しむことのできる施設設備の整備、備品の近代化にご配慮されますことを期待します。併せて、スポーツ振興を図る上で、指導者の存在や各種スポーツ大会への出場支援は不可欠です。今後ともその拡充を期待いたします。

**教育委員会会議及び教育委員の主な活動**

(1) 教育委員会会議

13 回開催 (開催日及び審議決定事項 下表のとおり)

{ 議事 38 件 }

(2) 平成 28 年度教育委員会会議開催状況

回 (開催日)	審 議 決 定 事 項
平成 28 年第 5 回 (H28. 4. 7)	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局各課事務分担</li> <li>・平成 28 年度石川県教育委員会連合会定期総会</li> <li>・平成 28 年度市内小中学校管理職・主任等について</li> <li>・平成 28 年度小中学校学年別人数・学級数</li> <li>・能美市版コミュニティ・スクールについて</li> <li>・学校地域元気アップ事業の拡大について</li> <li>・能美市ふれあいあいさつデーについて</li> <li>・スポーツ課行事の開催予定について</li> <li>・能美市スポーツ推進委員について</li> </ul> <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式で写真撮影する来賓を見て、子どもたちにスマホの使い方 の注意を促す大人としてふさわしい行為が必要だと思つた。</li> </ul>
平成 28 年第 6 回 (H28. 5. 10)	議案第 14 号 能美市社会教育委員の補充について 報告第 1 号 能美市図書館協議会委員の補充の報告について

	<p>報告第 2 号 専決処分の報告について</p> <p>専決第 1 号 能美市根上青年の家管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度ロシアシレホフ市少年親善使節団受入れについて</li> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（3 月状況）</li> <li>・学校計画訪問等の日程について</li> <li>・第 12 回能美市民スポーツフェスティバル in ねあがり</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息調査でトミヨ（ハリンコ）が極端に少なくなっていることがわかった。自然の流れとして起こり得ることを共有し、後世に残すのも勉強の一環だと思う。自然を大切にし、対処していくことも大切だと思う。</li> <li>・不登校対応について、周囲の人より先生から直接の一言があることは大きいと思う。ソーシャルワーカーによる新たな訪問活動での先生の一言は百倍も千倍も違うと思うので期待している。</li> </ul>
<p>平成 28 年第 7 回 (H28. 6. 8)</p>	<p>報告第 3 号 専決処分の報告について</p> <p>専決第 2 号 平成 27 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>報告第 4 号 専決処分の報告について</p> <p>専決第 3 号 平成 28 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育総務課 施設耐震改修工事について</li> <li>・平成 28 年度 姉妹都市交流事業</li> <li>・学校教育課 公用車による事故について</li> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（4 月状況）</li> <li>・学校教育懇談について</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校が全体的に増えている。親を支援することで子の成長にもつながるのではないか。</li> </ul>
<p>平成 28 年第 8 回 (H28. 7. 20)</p>	<p>議案第 15 号 平成 28 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県市町教育委員会セミナーについて</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（5,6月状況）</li> <li>・平成27年度 能美市の不登校の状況</li> <li>・外国語指導助手（ALT）</li> <li>・第29回 JAPAN TENT <ul style="list-style-type: none"> <li>— 世界留学生交流・いしかわ2016 —</li> </ul> </li> <li>・第68回石川県民体育大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>能美市選手団結団式及び開会式・会場について</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校には格差問題や親の貧困が関わっていると思う。要保護世帯の増加も一つの着眼点になるのではないか。</li> </ul>
<p>平成28年第9回 (H28. 8. 25)</p>	<p>議案第16号 平成28年度能美市一般会計補正予算の教育関係予算の要求について</p> <p>議案第17号 平成28年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（7月状況）</li> <li>・グッドマナーキャンペーンについて</li> <li>・第68回石川県民体育大会 結果</li> <li>・小堀勇氣選手リオデジャネイロオリンピック銅メダル祝賀会について</li> </ul>
<p>平成28年第10回 (H28. 9. 30)</p>	<p>議案第18号 平成28年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度能美市教育委員会の点検及び評価報告書（平成27年度事業対象）について</li> <li>・各研究大会への参加について <ul style="list-style-type: none"> <li>加南地区教育委員会連絡協議会研究大会</li> <li>石川縣市町教育委員会連合会臨時総会及び研究大会</li> <li>市町教育委員会研究協議会（第1ブロック）</li> </ul> </li> <li>・全日本中学校道徳教育研究大会石川大会について</li> <li>・平成28年度全国学力・学習状況調査 能美市の結果について</li> <li>・県内の学校への爆破・殺人予告メールへの対応</li> <li>・第12回能美市総合文化祭について</li> <li>・スポーツ課 全国大会出場に伴う激励会</li> <li>・第8回能美市民綱引き大会</li> </ul>

<p>平成 28 年第 11 回 (H28. 10. 26)</p>	<p>議案第 19 号 平成 28 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町教育委員会研究協議会（第 1 ブロック）への参加について</li> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（9 月状況）</li> <li>・第 30 回中学生学校給食献立コンクール審査結果</li> <li>・平成 29 年度入学式等について</li> <li>・子どもマイスターウィークについて</li> <li>・全日本中学校道徳教育研究大会石川大会</li> <li>・能美市営 20km 競歩路コースの更新について</li> </ul> <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問で授業中に教室から出ていく児童に担任が付いている状況を見て、あのままでいいか疑問に思った。正しいかどうかを子どもに伝えないといけない。正しくないことに平気になるのはよくない。改善することも現状を認識することも必要である。必要に応じてしっかり叱ってもいいと思う。</li> <li>・学校訪問で、先生に対する児童の言葉遣いや話し方に問題があると思った。根本的に大事なことは、幼稚園・保育園の時から延長上にある。悪意を持って使っているか、日常的に使っているかでも違う。しつけは、家庭内の親子関係をつくることでもあり、園児の頃からの関係が大切である。先生方には、言葉遣いが大きな影響のあるものだと親に啓発してほしいと思う。</li> <li>・家庭には家庭ですべきことがあるが、逆にプレッシャーにもなることもある。親がしつけを行き過ぎてうまくいかないことも多いので小学校の先生の力にもお願いしたいところである。</li> <li>・子どもに興味を持って、よいことや頑張っていることを見つけて広めていくのがよい。それを父兄にも発信していけば家庭にも力がついていくのではないか。「ダメ」ばかりを言っても子どもにもよくない。</li> </ul>
<p>平成 28 年第 12 回 (H28. 11. 17)</p>	<p>議案第 20 号 能美市体育施設条例の一部を改正する条例</p> <p>議案第 21 号 平成 28 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 22 号 能美市学習会館の指定管理者の指定について</p> <p>議案第 23 号 能美市和気あいあいの里キャンプ場の指定管理者の指定について</p> <p>議案第 24 号 能美市働く婦人の家の指定管理者の指定について</p> <p>議案第 25 号 能美市教職員ストレスチェック制度実施要領の制定</p>

	<p>について</p> <p>議案第 26 号 平成 28 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（10 月状況）</li> <li>・歳末助け合い入札展について</li> <li>・スマートウォークラリーについて</li> </ul> <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対策で家庭の問題に踏み込むのは難しい。親の責任は何かを明らかにしないと取り込めない。地域が介在して情報をとらえて連携していくことで、“繋がっていく”のではないかな。</li> <li>・道徳教育では、他者の気持ちになって考えることができる子をつくっていかないといけない。体制を作って道徳指導内容の充実につなげていくことが必要だと思う。社会教育関係の講演会は、地域全体で考えることにつながるし、地域の人にも啓発になると思う。</li> <li>・スマホやネット利用について、「一旦は自分で考えなさい。」と声をかけるだけでも意識が変わってくる。問題を解消できなくても解決への一助にはなるのではないかな。</li> </ul>
平成 28 年第 13 回 (H28. 12. 21)	<p>議案第 27 号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則</p> <p>議案第 28 号 平成 28 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（11 月状況）</li> <li>・平成 29 年 成人式について</li> <li>・第 53 回歳末助け合い入札展結果報告について</li> <li>・文芸能美の配布について</li> <li>・第 41 回全日本競歩能美大会の開催日について</li> </ul>
平成 29 年第 1 回 (H29. 1. 13)	<p>議案第 1 号 教育委員の辞職の同意について</p> <p>議案第 2 号 社会教育委員の解任について</p>
平成 29 年第 2 回 (H29. 1. 23)	<p>議案第 3 号 能美市私立幼稚園就園補助金交付要綱及び能美市第 3 子以降私立幼稚園保育料等無料化事業費補助金交付要綱を廃止する要綱について</p> <p>議案第 4 号 能美市私立幼稚園就園補助金交付要綱の制定について</p>



	<p>議案第 5 号 能美市特別支援教育就学奨励費交付要綱の制定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（12 月状況）</li> <li>・能美市立小学校・中学校の卒業式・入学式について</li> <li>・平成 28 年度青少年ボランティア賞受賞</li> <li>・教員対象いじめ問題に関する教員アンケート調査の実施について</li> <li>・学びフェスタ 2017 の開催について</li> <li>・平成 28 年度立志式</li> <li>・第 41 回全日本競歩能美大会の開催について</li> </ul>
<p>平成 29 年第 3 回 (H29. 2 . 24)</p>	<p>議案第 6 号 能美市学習会館条例の一部を改正する条例について</p> <p>議案第 7 号 能美市コミュニティ施設条例の一部を改正する条例について</p> <p>議案第 8 号 能美市コミュニティ施設の指定管理者の指定について</p> <p>議案第 9 号 能美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について</p> <p>議案第 10 号 能美市立学校における学校運営協議会に関する規則について</p> <p>議案第 11 号 能美市立小学校及び中学校における区域外就学等に関する取扱要綱について</p> <p>議案第 12 号 平成 29 年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>議案第 13 号 平成 28 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 14 号 平成 28 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（1 月状況）</li> <li>・能美市立小中学校の卒業式・入学式について</li> <li>・「規則正しい生活を過ごすために」（リーフレット）の発行について</li> <li>・まなびフェスタ 2017 の実施報告</li> <li>・平成 28 年度能美市体育協会表彰について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 69 回石川県民体育大会冬季大会の開催について</li> </ul>
平成 29 年第 4 回 (H29. 3 . 21)	<p>議案第 15 号 能美市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 16 号 能美市立学校医の補充の選任について</p> <p>議案第 17 号 能美市立学校薬剤師の補充の選任について</p> <p>議案第 18 号 平成 28 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告第 1 号 平成 28 年度能美市立小中学校 学校評価最終報告書の報告について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（2 月状況）</li> <li>・能美市内教職員離任式について</li> <li>・コミュニティ・スクールの導入について</li> <li>・第 1 回スマートウォークフェスティバルの開催について</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に離婚する人が増えているようだ。離婚により周囲にサポートできる大人がいない子どもが、将来まできちんと教育が受けられるのか不安で心配である。義務教育の期間は支援があっても、それ以後の進路や行く末が気になる。</li> <li>・保護者には、保護者自身の問題点を意識してほしい。市民一体となって子どもたちがどの方向に向いていくのか、方向性を定めて取り組んで行かないといけないと思う。結局は家庭の中が基本であり、まず親二人が基本的な生活習慣を身につけてほしい。その点では、親教育から始まるのかと思う。</li> <li>・ネット問題で大切なことは「頭を働かせること」「ちゃんと寝ること」で、規則正しい生活を推奨していくことが欠かせない。関心を寄せている人も多く、今後新たに市全体で取り組む方向になっており期待している。</li> <li>・学校の実態を知っている人をたくさん作っていくことがいいと思う。</li> </ul>

(3) 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
H28. 4. 1	事務局職員辞令伝達式
H28. 4. 5	市内小学校・中学校入学式

H28. 4. 7	第5回市教育委員会会議
H28. 4. 7	転入教職員着任式
H28. 4. 15	ふれあいあいさつデー
H28. 4. 20	第1回石川縣市町教育長会（金沢市）
H28. 4. 28	市体育協会総会
H28. 4. 28	石川縣市町教育委員会連合会理事会（金沢市）
H28. 5. 10	石川縣市町教育委員会連合会定期総会（金沢市）
H28. 5. 10	第6回市教育委員会会議
H28. 5. 7, 14	NOMI フォローアップスクール開講式
H28. 5. 16	ふれあいあいさつデー
H28. 5. 22	スポーツフェスティバル in ねあがり
H28. 5. 12	第12回能美市民体育大会総合開会式
H28. 5. 21	能美中学校陸上競技大会
H28. 5. 26	市教育支援委員会
H28. 5. 26	第13回加賀地区健康クラブ交歓大会能美大会
H28. 6. 1	寺井中学校計画訪問
H28. 6. 3	能美中学校相撲大会
H28. 6. 6	第2回市議会定例会
H28. 6. 8	第7回市教育委員会会議
H28. 6. 9	和気小学校計画訪問
H28. 6. 10	第2回市議会定例会
H28. 6. 12	第59回全国銃剣道能美大会
H28. 6. 13	第2回市議会定例会
H28. 6. 15	ふれあいあいさつデー
H28. 6. 18～20	加賀地区中学校総合体育大会
H28. 6. 19	リオデジャネイロ五輪 小堀勇氣選手激励会
H28. 6. 20	第2回市議会定例会
H28. 6. 21～27	シェレホフ市少年親善使節団来訪
H28. 6. 24	シェレホフ市少年親善使節団 歓迎夕食会
H28. 6. 25	「ハートネットTV 公開すこやか長寿」公開録画
H28. 6. 25, 26	県中学校陸上競技大会
H28. 6. 28	辰口中央小学校計画訪問
H28. 6. 30	学びの組織的実践推進事業研究発表会
H28. 7. 5	寺井小学校計画訪問
H28. 7. 13	第2回石川縣市町教育長会（金沢市）
H28. 7. 15	ふれあいあいさつデー
H28. 7. 16～18	県中学校総合体育大会
H28. 7. 20	第8回市教育委員会会議

H28. 7. 20	市内小学校・中学校第1学期終業式
H28. 7. 22	東レアローズ女子バレーボール教室
H28. 7. 22～8. 31	青少年健全育成センター地区パトロール
H28. 7. 23～8. 21	博物館 夏季企画展「能美の文化財」
H28. 7. 26～8. 2	能美市少年親善使節団シェレホフ市派遣
H28. 7. 27	第68回県民体育大会能美市選手団結団式
H28. 7. 27～31	寺井中学校韓国大徳中学校少年親善使節団派遣(寺井中学校姉妹校)
H28. 7. 30	九谷焼列品解説(九谷焼資料館)
H28. 7. 30～8. 8	サイエンスフェスタ能美2016
H28. 7. 30, 31	スマートウォークアドバイザー養成講習会(市民対象)
H28. 7. 31	赤絵に魅せられて(九谷焼資料館)
H28. 8. 1	夏休み映画上映会(子供向け)「おじゃる丸」
H28. 8. 2	石川県市町教育委員会連合会教育セミナー(金沢市)
H28. 8. 3～5	北信越中学校総合体育大会
H28. 8. 6, 7	第68回県民体育大会夏季大会
H28. 8. 7～9	根上中学校少年親善使節団韓国培材中学校受入(根上中学校姉妹校)
H28. 8. 9	学校教育懇談(福岡小学校, 寺井小学校, 粟生小学校, 辰口中央小学校)
H28. 8. 10	学校教育懇談(湯野小学校, 宮竹小学校, 和気小学校, 辰口中学校)
H28. 8. 10	夏休み木工体験教室
H28. 8. 11	能美の里山昆虫観察教室
H28. 8. 11	「絹本著色白山曼荼羅図」絵解き講座(博物館)
H28. 8. 12	学校教育懇談(浜小学校, 根上中学校, 寺井中学校)
H28. 8. 17～19	第56回全国中学校水泳競技大会(競泳・飛込)
H28. 8. 22～24	第47回全国中学校ソフトテニス競技大会(団体・個人)
H28. 8. 25	第9回市教育委員会会議
H28. 8. 28	夏休み席書大会
H28. 9. 1	市内小学校・中学校第2学期始業式
H28. 9. 1	第68回石川県民体育大会能美市選手団解団式
H28. 9. 1～7	ふれあいあいさつデー強化週間
H28. 9. 2	第2回石川県教育委員会連合会理事会(金沢市)
H28. 9. 3	第35回加賀地区中学生意見発表大会
H28. 9. 5	第3回市議会定例会
H28. 9. 12, 13	第3回市議会定例会
H28. 9. 22	秋常山古墳まつり
H28. 9. 23	第3回市議会定例会
H28. 9. 27	粟生小学校計画訪問
H28. 9. 30	第10回市教育委員会会議

H28. 9. 30	平成 28 年度市教育委員研修会 「現状と課題～『コミュニティ・スクール』の可能性～」
H28. 9. 30	市主催事業「Super パフォーマンスライブ」
H28. 10. 2	スポーツフェスティバル in てらい
H28. 10. 2	スポーツフェスティバル in たつのくち
H28. 10. 3	根上中学校計画訪問
H28. 10. 6	石川県公民館大会
H28. 10. 7	平成 28 年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会
H28. 10. 13	浜小学校計画訪問
H28. 10. 14	石川縣市町教育委員会連合会臨時総会及び研究大会（羽咋市）
H28. 10. 17	市ふれあいあいさつデー
H28. 10. 22	秋季企画展「能美の年中行事」
H28. 10. 25	能美市総合文化祭（小学校ジュニア文化発表会）
H28. 10. 26	第 11 回市教育委員会会議
H28. 10. 27	全日本中学校道徳教育研究大会石川大会
H28. 10. 28	能美市総合文化祭（中学校ジュニア文化発表会）
H28. 10. 28～30	能美市総合文化祭（展示部門・一般展示）
H28. 10. 29	能美市総合文化祭・芸能大会
H28. 10. 31	能美市総合教育会議
H28. 11. 3～6	能美市総合文化祭（展示部門・文化協会）
H28. 11. 7	湯野小学校計画訪問
H28. 11. 8	宮竹小学校計画訪問
H28. 11. 10	福岡小学校計画訪問
H28. 11. 13	第 8 回能美市民綱引き大会
H28. 11. 13	第 10 回能美市ファミリーコンサート 「純名里沙 with オーケストラ・アンサンブル金沢」
H28. 11. 15	市ふれあいあいさつデー
H28. 11. 16	宝くじ文化公演『ザ・デイサービス・ショウ 2016』
H28. 11. 17	第 12 回市教育委員会会議
H28. 11. 19	第 9 回子どもマイスター賞表彰式
H28. 11. 21, 22	市町村教育委員会研究協議会（第 1 ブロック）（金沢市）
H28. 11. 23	スマートウォークラリー
H28. 11. 27	第 7 回能美市キンボール交歓大会兼ジュニアスポーツクラブ交流会
H28. 11. 28	石川縣市町教育長研修会（金沢市）
H28. 11. 30	第 4 回市議会定例会
H28. 12. 2～4	第 53 回歳末助け合い入札展
H28. 12. 6	第 4 回市議会定例会
H28. 12. 7	第 4 回市議会定例会

H28. 12. 13	辰口中学校計画訪問
H28. 12. 15	ふれあいあいさつデー
H28. 12. 16	第 4 回市議会定例会
H28. 12. 21	第 13 回教育委員会会議
H28. 12. 22	市内小学校・中学校第 2 学期終業式
H29. 1. 6~19	博物館蔵品展
H29. 1. 8	成人式
H29. 1. 10	市内小学校・中学校第 3 学期始業式
H29. 1. 13	第 1 回市教育委員会会議
H29. 1. 16	ふれあいあいさつデー
H29. 1. 23	第 2 回市教育委員会会議
H29. 1. 24	第 3 回石川県市町教育長会（金沢市）
H29. 1. 24~2/2	博物館蔵品展
H29. 1. 29	第 12 回能美市民体育大会 スキー競技
H29. 2. 15	ふれあいあいさつデー
H29. 2. 16	立志式
H29. 2. 18, 19	うんどう あそび
H29. 2. 19	まなびフェスタ 2017
H29. 2. 24	第 3 回市教育委員会会議
H29. 2. 25, 26	第 69 回石川県民体育大会冬季大会 スキー競技会
H29. 3. 6	第 1 回能美市議会定例会
H29. 3. 10	市内中学校卒業式
H29. 3. 15	第 1 回能美市議会定例会
H29. 3. 15	ふれあいあいさつデー
H29. 3. 16	第 1 回能美市議会定例会
H29. 3. 17	市内小学校卒業式
H29. 3. 18	コミュニティ・スクールを学ぶ会
H29. 3. 19	第 41 回全日本競歩能美大会
H29. 3. 21	第 4 回市教育委員会会議
H29. 3. 24	市内小学校・中学校第 3 学期終業式（平成 28 年度終了式）
H29. 3. 25, 26	タント演劇学校第 18 回公演
H29. 3. 28	第 1 回能美市議会定例会
H29. 3. 29	教職員離任式

## 評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。今年度は、市の第 2 次能美市総合計画の策定にあたり、

新たな教育行政の方向性について検討を重ねました。29年度に改訂予定の『教育施策の大綱』にも繋げるものとなります。また、能美市総合教育会議では、「学校と地域が一体となって子どもたちを育む『地域とともにある学校づくり』の推進」をテーマに市長と有意義な協議の機会となり、29年度からのコミュニティ・スクール導入を実現することになりました。

引き続き多様化する教育ニーズに対応し、能美市教育行政の基本方針である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向けて、教育の充実・振興に努め市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ、更なる教育行政の推進に努めています。

#### ○意見

はじめに、能美市さんが、地方教育行政法に基づいて、今年度から所管する学校に学校運営協議会を置いたことを心から歓迎いたすものです。制度化に向けて学校支援の取組を推進したことが、制度化の基盤整備になったのではないかと、いう思いです。今後、推進する中で、課題も現出するかと思いますが、必要な検討を加えながら制度の充実を図っていくことが大切であると思います。

さて、改めて申すまでもありませんが、自己点検・自己評価は、地域住民に対する説明責任を果たすことであるとともに、評価結果を新たな施策の推進に活かし、その利益を地域住民が享受できるような仕組みづくりに向けたものであることを切に願うものです。

行政には、限られた予算をどの事業に何のために配分し、どのような成果が得られる可能性があるか、という自己分析を行い、メリハリのきいた事業展開が求められますが、教育事業には、効率だけでは判断し得ない面があることを首肯しなければなりません。

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律上、およそ教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会です。行政委員会ならではの存在意義を發揮しながら、能美市の教育活動のさらなる活性化、まちとしての能美の魅力の掘り起こしや発信に資するような教育事業の展開に期待するものです。

すでにご承知のことかもしれませんが、現在国が検討している第3期の教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方（概要）によると、「夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」や「生涯学び、活躍できる環境を整える」が基本的な方針として掲げられています。

教育という営みは、当然のことながら長きにわたるものであり、すぐに成果を見出すことができにくいものではありませんが、教育施策のありようが、ひと育て、地域創生に大きくかかわっているということを再認識しながら、今後とも教育に関する事務の管理及び執行に心がけられますよう念願し、評価を終えての言葉といたします。